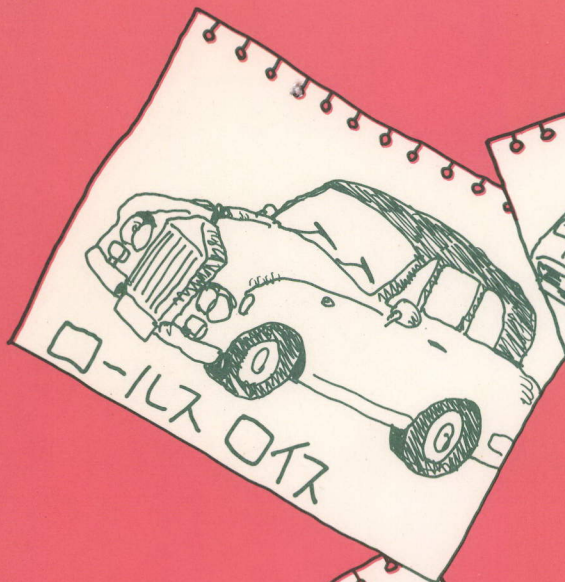
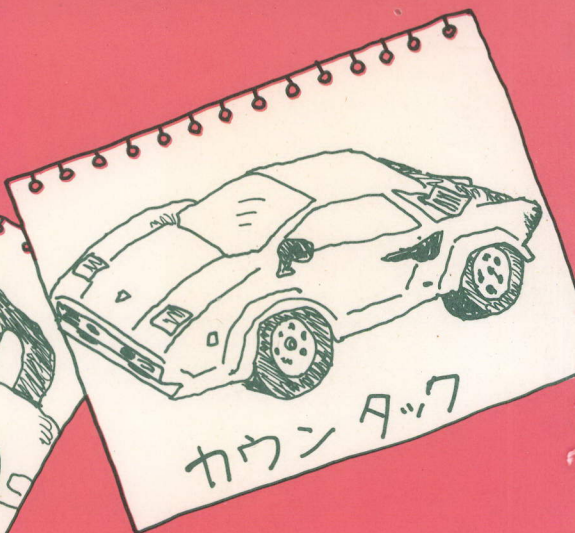
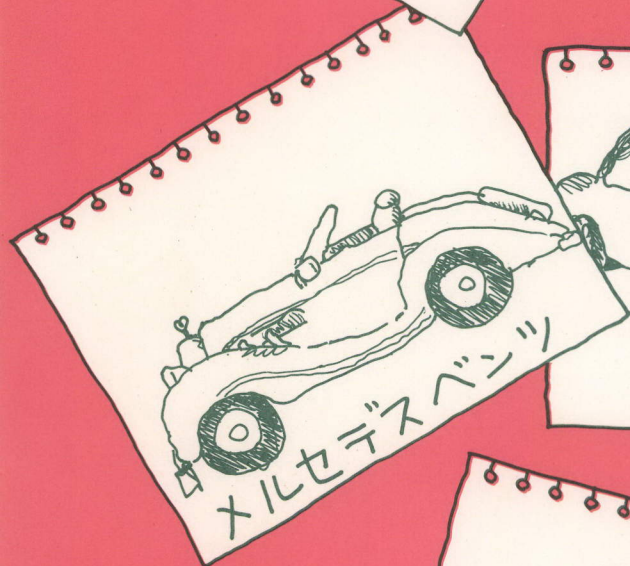
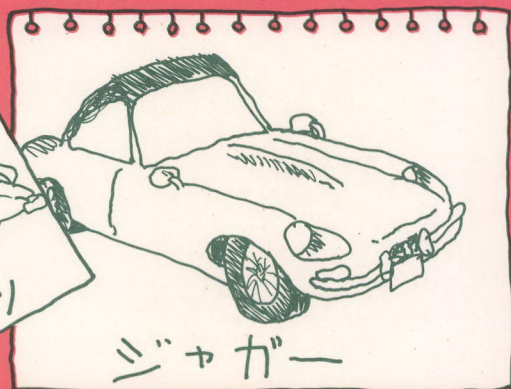
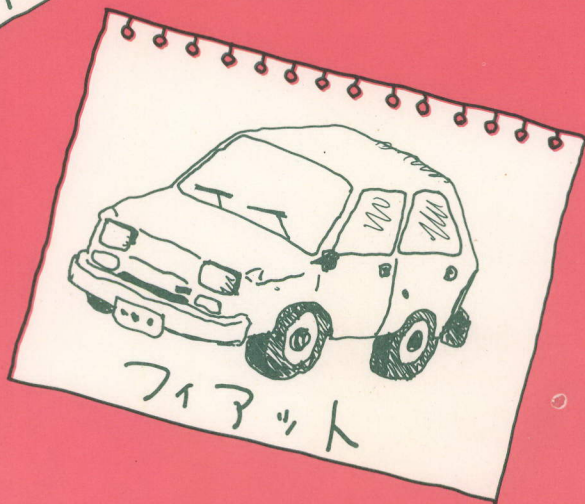
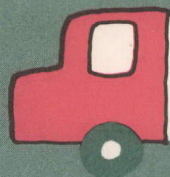
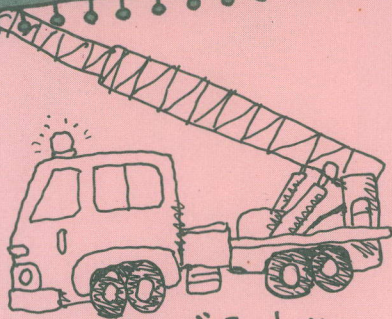
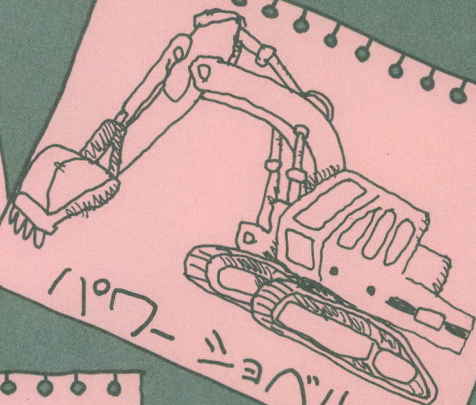
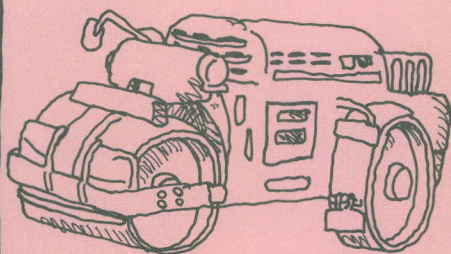
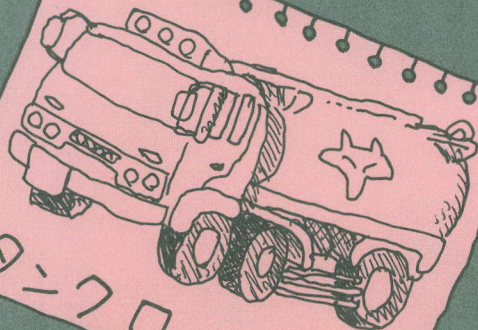
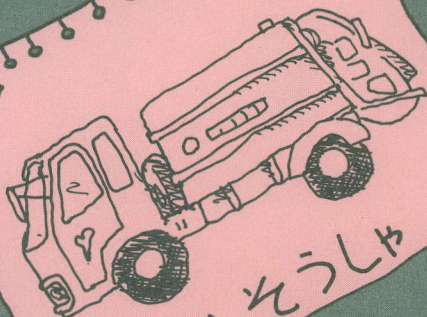
ISBN4-591-02148-3 C8093 P700E
ポプラ社の小さな童話㊸
小学1～2年むき
定価 700円(本体 680円・税 20円)
ブオロロロ…
ポプラ社

ロールス ロイス
カウン タック
メルセデスベンツ
ジャガー
フィアット

# はたらく　くるま

しょうぼうしゃ

パワーショベル

ロードローラー

タンクローリー

せいそうしゃ

ポプラ社の

# 小さな童話

- 2 1年生っていいね 宮川ひろ・さく 田中槇子・え
- 6 スパゲッティがたべたいよう 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 8 ハンバーグつくろうよ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 9 先生にはないしょ 宮川ひろ・さく 長谷川知子・え
- 12 ソフトクリームとっきゅう 矢玉四郎・さく 井沢洋二・え
- 13 カレーライスはこわいぞ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 18 まねっこ1年生 宮川ひろ・さく 山本まつ子・え
- 19 どんなケーキがいいかしら 谷 真介・さく 国井 節・え
- 20 おばけのコッチ ピピピ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 21 おばけのソッチ ぞびぞびぞー 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 25 ピザパイくんたすけてよ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 26 うさぎのとっぴん 前川かずお さく・え
- 28 おばけのアッチねんねんねんね 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 29 うたうケーキはどうかしら 谷 真介・さく 国井 節・え
- 32 エビフライをおいかけろ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 35 おばけのコッチあかちゃんのまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 36 にじのケーキはおいしいかしら 谷 真介・さく 国井 節・え
- 39 おばけのソッチ1年生のまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 41 うさぎのとっぴんとゆきおとこ 前川かずお さく・え
- 43 カレーパンでやっつけよう 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 45 ホットケーキでゆうえんち 谷 真介・さく 国井 節・え
- 47 フルーツポンチ はいできあがり 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 50 しょうぼうじどうしゃドコデモくん エム・ナマエ さく・え
- 52 おばけのアッチスーパーマーケットのまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 55 びっくりランドのびっくりすべりだい 谷 真介・さく 国井 節・え
- 58 へんし～ん ほうれんそうマン みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 59 うさぎのとっぴん びっくりパンク 前川かずお さく・え
- 61 おばけのぷぷのチョコレートケーキ 谷 真介・さく 国井 節・え
- 63 かいじゅうランドセルゴン 大石 真・さく 阿部 肇・え
- 64 ほうれんそうマンよいこの1年生 みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 65 ハンバーガーぷかぷかどん 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 67 おえかきケーキでつくったら 谷 真介・さく 国井 節・え
- 68 ほうれんそうマンのおばけやしき みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 69 おばけのアッチこどもプールのまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 70 おばけのソッチラーメンをどうぞ 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 71 まじょがつくったアイスクリーム 上崎美恵子・さく 佐竹美保・え
- 72 にゃんたんのなぞ？なぞ？ 巻 左千夫・さく 岡田日出子・え
- 73 ほうれんそうマンのじどうしゃレース みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 74 8ひきのこねずみと8このチーズケーキ 谷 真介・さく 国井 節・え
- 75 こわがりやの2年生 宮川ひろ・さく ゆーちみえこ・え
- 76 アッチのオムレツぽぽぽぽぽーん 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 79 くまの子ウーフミミちゃんといっしょ 神沢利子・さく 井上洋介・え
- 81 ほうれんそうマンのようかいじま みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 84 おばけのソッチおよめさんのまき 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 85 うさぎのとっぴんパイロットだ！ 前川かずお さく・え
- 86 8ひきのこねずみといたずらクッキー 谷 真介・さく 国井 節・え
- 87 ほうれんそうマンのようかいがっこう みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 88 こねこムーのおくりもの 江崎雪子・さく 橋本淳子・え
- 89 にゃんたんのゲームブック 巻 左千夫・さく 岡田日出子・え
- 90 くまの子ウーフミミちゃんのみみ 神沢利子・さく 井上洋介・え
- 91 ほうれんそうマンのゆうれいじょう みづしま志穂・さく 原ゆたか・え
- 92 車のいろは空のいろきこえるよ○(まる) あまんきみこ・さく つちだよしはる・え
- 93 アッチとボンのいないいないグラタン 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 94 にゃんたんのゲームブック どきどきようかいたいじ 巻 左千夫・さく 岡田日出子・え
- 95 うさぎのとっぴんとプリンかいじん 前川かずお さく・え
- 96 えっちゃんとこねこムー 江崎雪子・さく 橋本淳子・え
- 97 かいけつゾロリのドラゴンたいじ 原ゆたか さく・え
- 98 おこさまランチがにげだした 角野栄子・さく 佐々木洋子・え
- 99 にゃんたんのゲームブック なぞなぞまほうがっせん 巻 左千夫・さく 岡田日出子・え
- 100 くまの子ウーフおつかいかぞえうた 神沢利子・さく 井上洋介・え

ポプラ社の小さな童話⑬

ほうれんそうマンのじどうしゃレース

一九八五年十二月　第1刷
一九八九年八月　第12刷

作　家　みづしま志穂
画　家　原　ゆたか
発行者　田中治夫
発行所　株式会社　ポプラ社
東京都新宿区須賀町五　〒一六〇
TEL　東京　〇三—三五七—二二一一（代）
振替・東京　四—一四九二七一
印　刷　瞬報社写真印刷株式会社
製　本　島田製本株式会社

913　みづしま志穂
ほうれんそうマンのじどうしゃレース
ポプラ社　1989
78p　22cm
ポプラ社の小さな童話⑬


ISBN4-591-02148-3

●作家紹介

**みづしま志穂**（みづしましほ）

一九五二年、鹿児島県に生まれる。「つよいぞポイポイきみはヒーロー」で第七回毎日童話新人賞「好きだった風　風だったきみ」で第三十二回毎日児童小説賞・日本児童文学者協会新人賞を受賞する。作品に「ほうれんそうマン」シリーズなどがある。

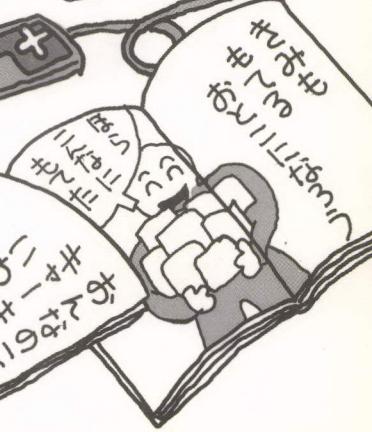
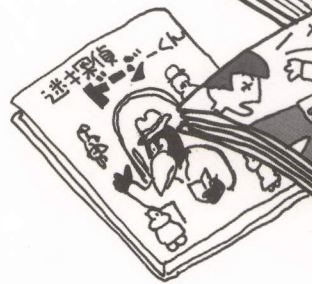
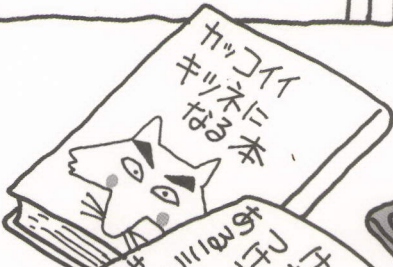
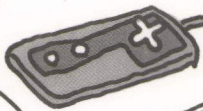
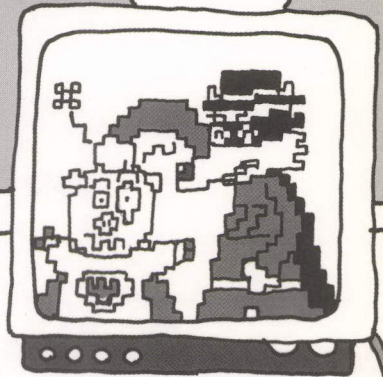
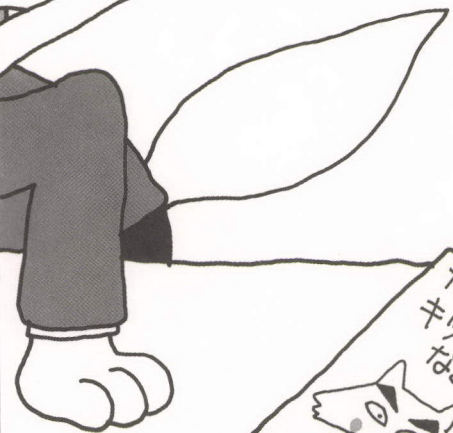
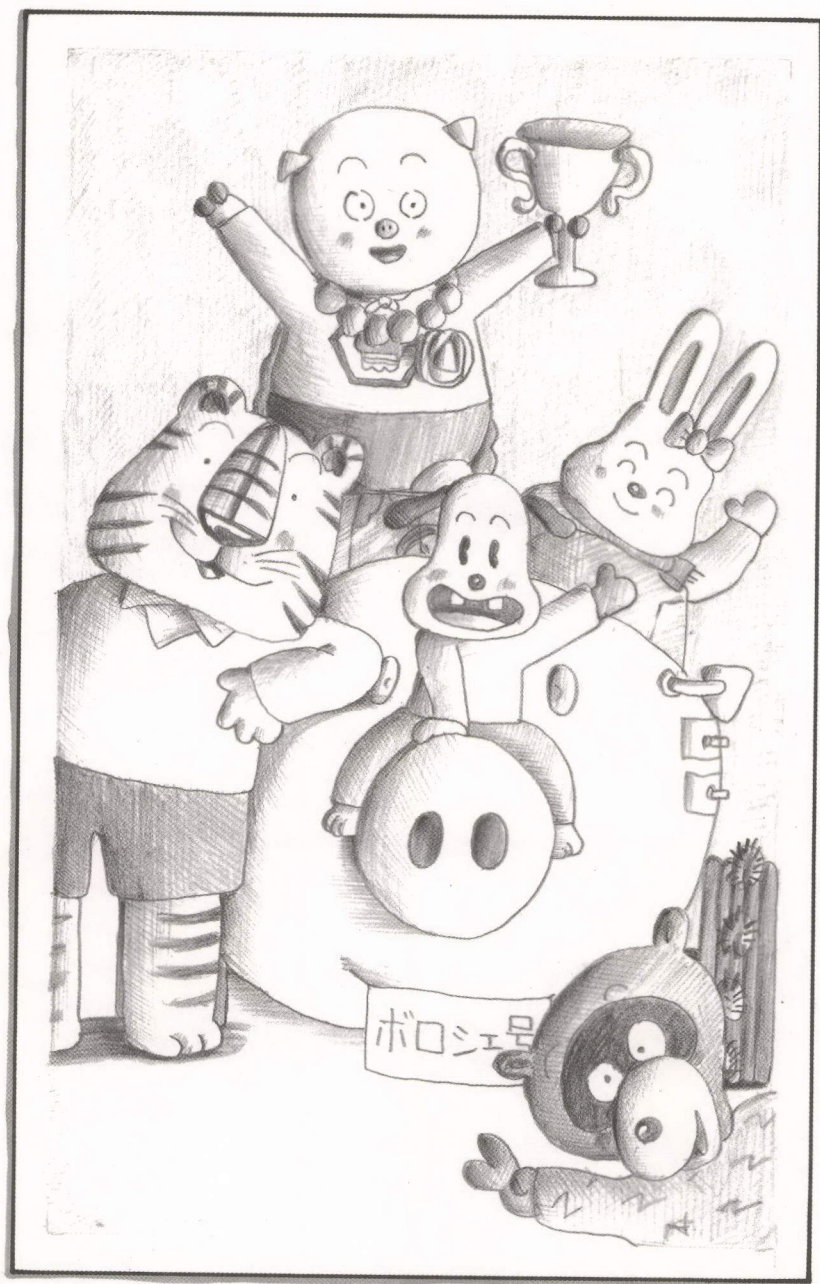
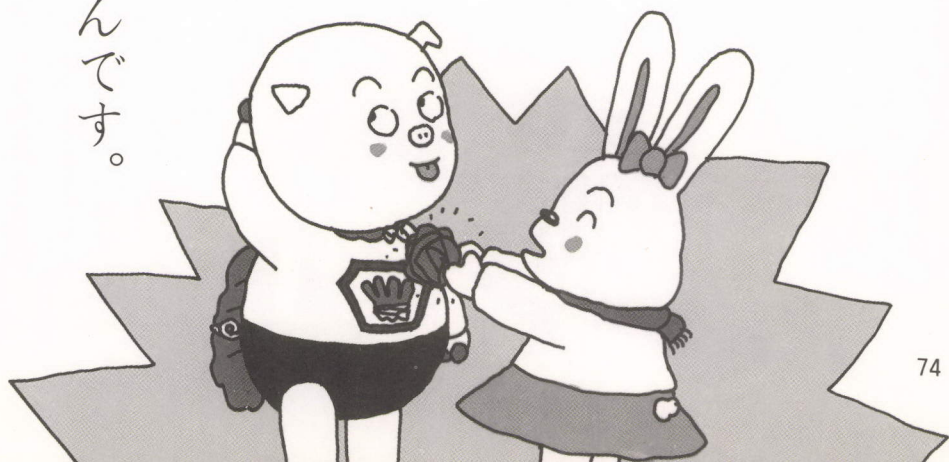
●画家紹介

**原ゆたか**（はらゆたか）

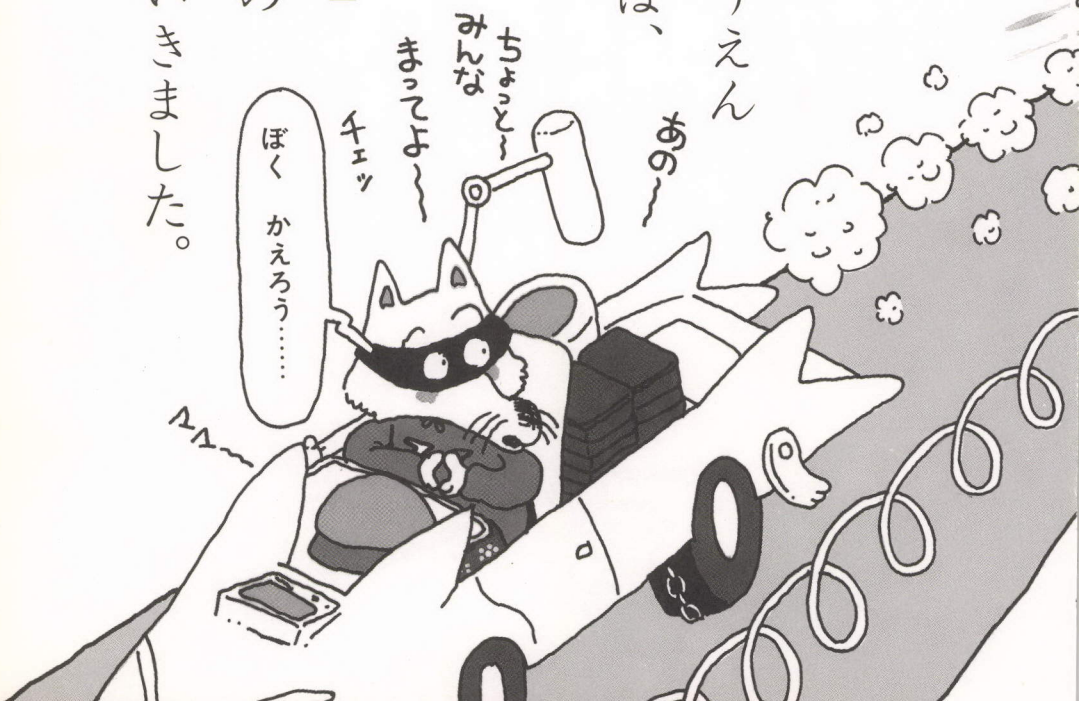
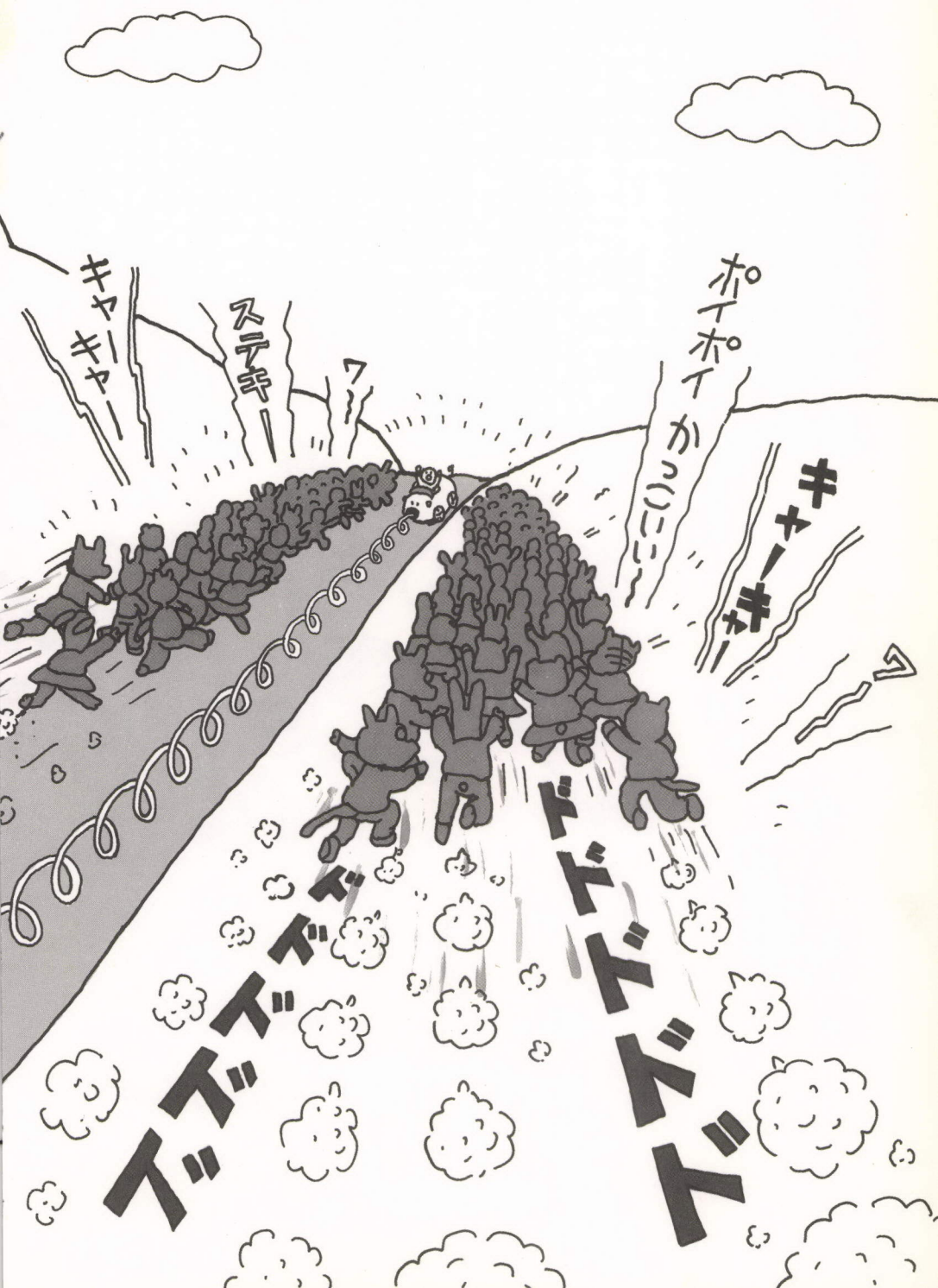
一九五三年、熊本県に生まれる。七四年KFSコンテスト・講談社児童図書部門賞受賞。主な作品に、「ちいさなもり」「マータンはまさおくん」「てぶくろロケットの宇宙探険」「たからのげた」「ぷうのおつかい」「ぼくのもパパみたいになるのかな」「ほうれんそうマン」シリーズなどがある。

この本を　よーく
よんでくれたら
わかるだろうが、
こんどばかりは
ポイポイって　ずるいよなー。
おれさまの　かなしい　きもち、
わかるだろ。
こんどこそ　ぼくの　ファンの
みなさまに、ポイポイの
なきさけぶ　かおを
みせてやるからな。
たのしみに　まってろな。
ちょうだいな
ママ

いそべもちを かえせ!!
ポイポイは エッチだ
ゾロリの ファンの しょくん、
ちょっと おれさまの
ちかくに、あつまってくれ。
ポイポイ いじめゲーム
ポイポイ たたきゲーム
カッコイイ キツネに なる本
からだに けむしを つけて あるこう
キャ~!!
キャ~!!
キャ~!!
おんなのこに キャーキャー いわれる ほうほう

ボロシェ号

「みんなで　ちからを　あわせて
つくった、ポイポイ　ボロシェ号の
おかげだよ。ありがとう。」
すみれちゃんが、ポイポイの　むねに
バラの花を　さしました。
「ほうれんそうマン　おめでとう。」
「ばんざーい、ほうれんそうマン。」
ポイポイ　ボロシェ号を　つくった、
いだいな　五にんぐみの　きねんしゃしんです。

けんぶつにんも、これには
びっくりぎょうてん。
さっきまで　ゾロリを　おうえん
していた　おじょうさんたちは、
「キャー　ほうれんそうマン、
かつわいいーー！」
「サイン　してもらおうっと。」
みんな、ほうれんそうマンの
ボロシエ号のほうへ　かけていきました。

あの〜
ちょっと〜
みんな
まってよ〜〜
チェッ
ぼく　かえろう……

ポイポイかっこいい〜
キャーキャー
ワ〜
ドドドドド
ワ〜
ステキー
キャーキャー
イ゛イ゛イ゛イ゛イ゛

とおくに　いた
ポイポイ　ボロシェ号の
はなが、ググーンと　のびて、
ゴールの　テープを
プチンと、きったのです。

ピョヨヨヨヨーーーーン
わあっ!!
すごい!
あたし、ポイポイしんじてたの。

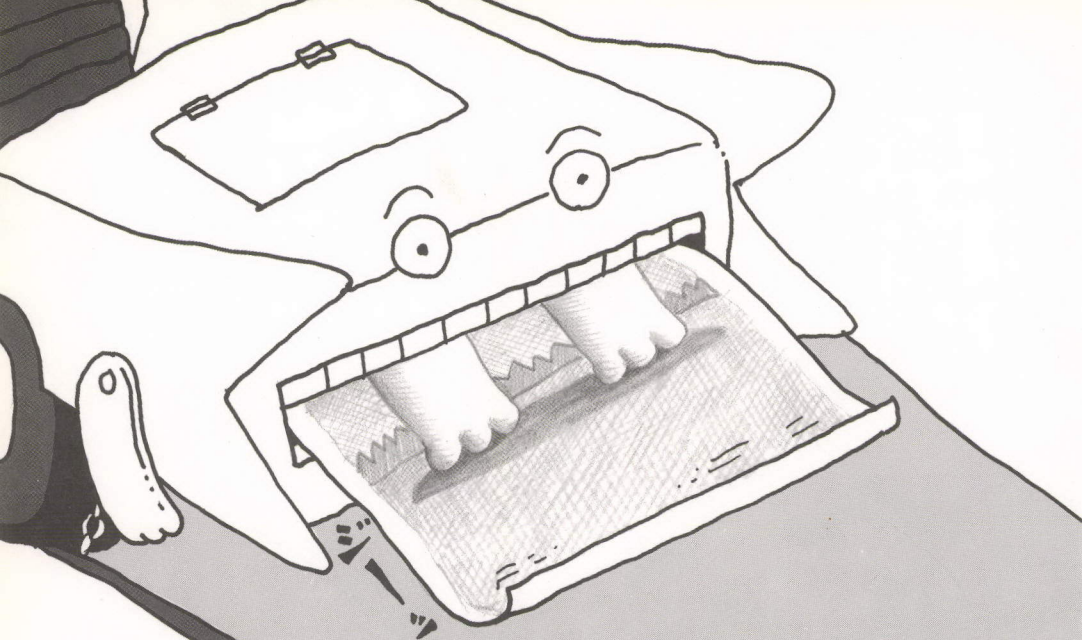
ゾロリの
のっている
F1 ゾラーリ号が、
ゴールの テープを
きろうと しています。
そのとき、しんじられない
ことが おこりました。

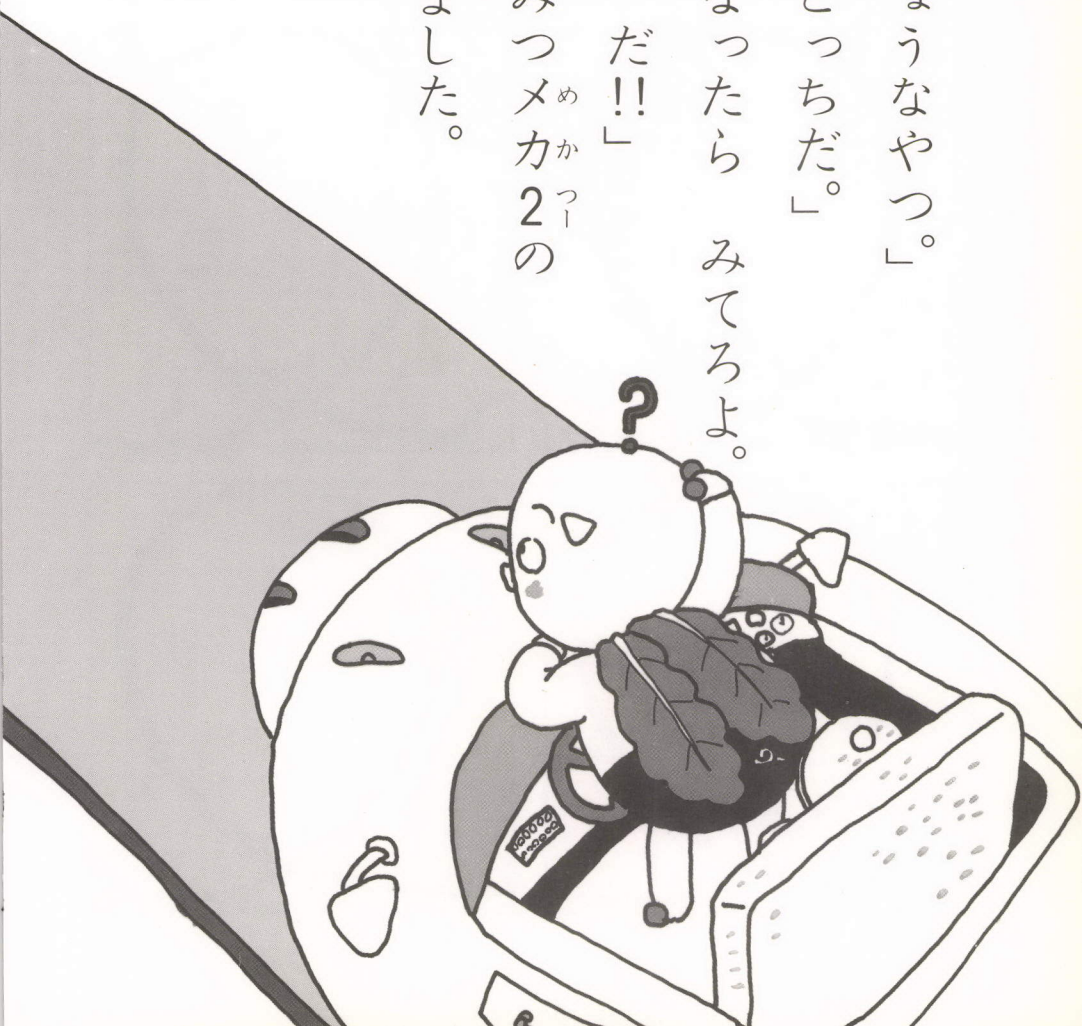
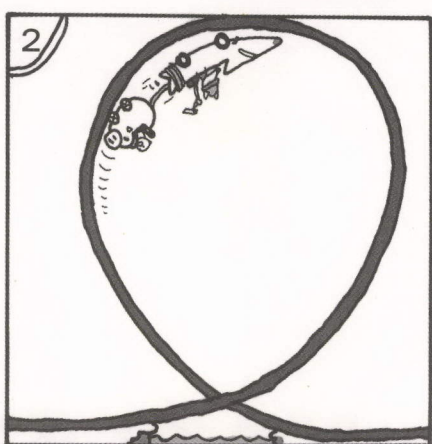
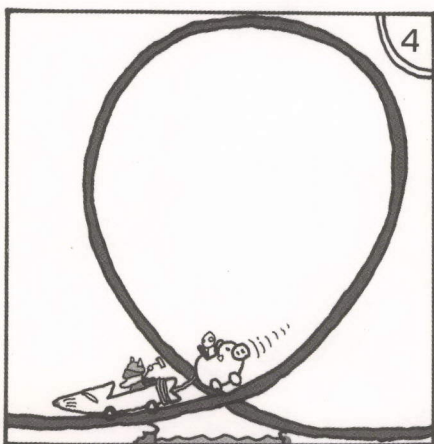
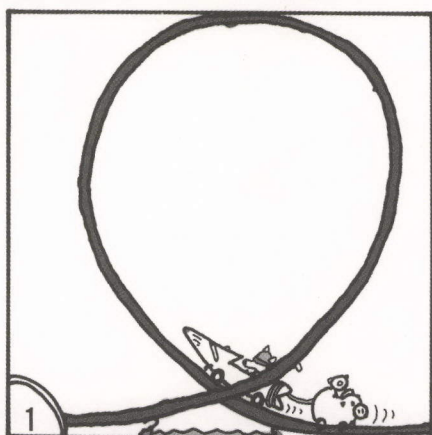
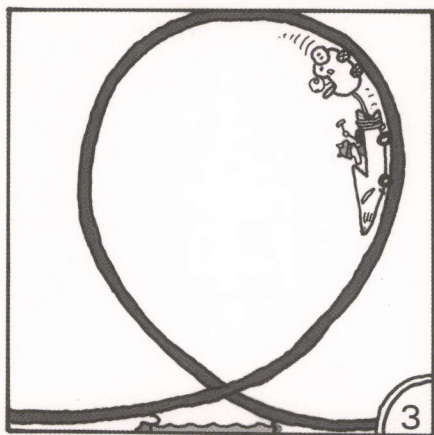
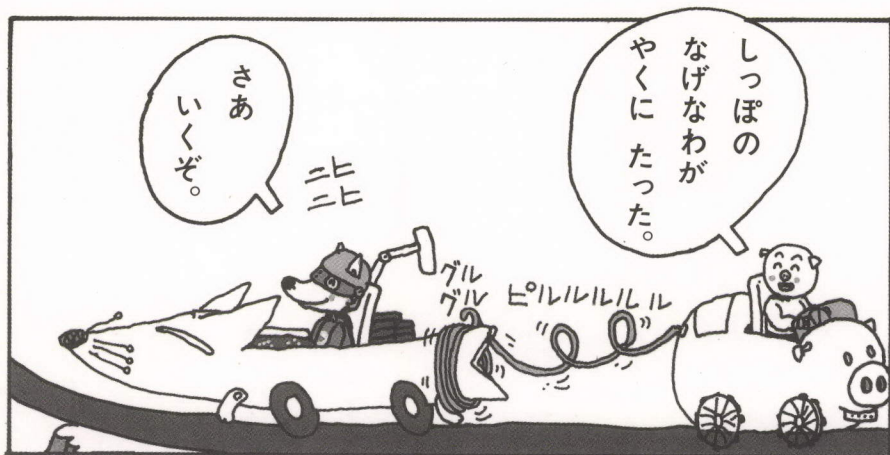
あっ、きたよ！
もう　だめだあ～。
あたし、ポイポイしんじる。

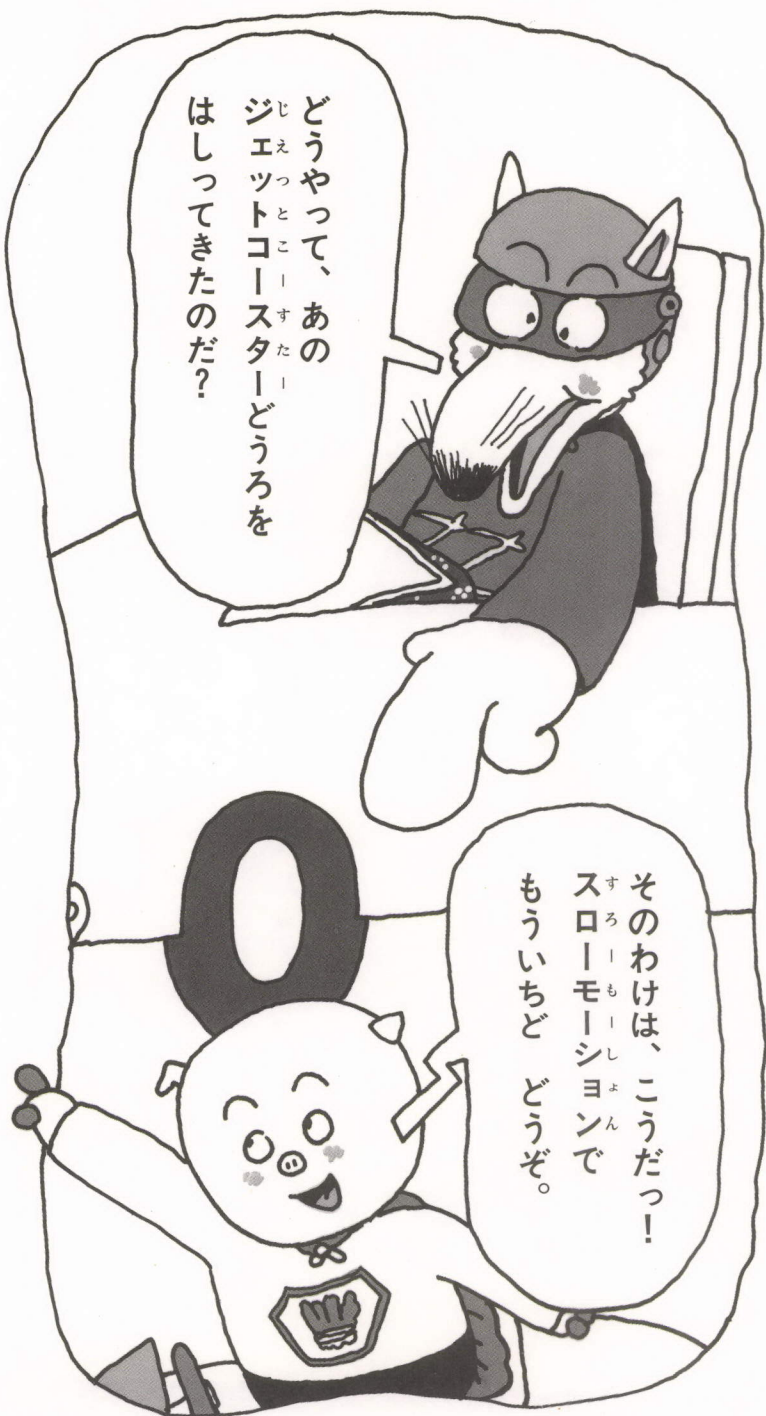
どうも
ありがと
くやしいなあ。ゾロリの　とくいそうな　かおったら。
ポイポイは、まだ　みえないかい？
まだ　みえないよ。
あたし、ポイポイが　かつって　しんじてるわ。

みんなの　あらしのような　はくしゅが、
Fーゾラーリ号を　つつみます。
ワーワー　キャーキャー
パチパチパチ　パチパチパチ
「ゾロリさん、かっこいーい。
　こっち　むいて――。」
おじょうさんたちが　いうと、
ゾロリは　手を　ふって、
ゆっくりと　すすみます。

ほうれんそうマンが
しゃしんを
かたづけている
あいだに、ゾロリは
ゴールへ　まっしぐら。

それは、すみれちゃんの　大きな
しゃしんだったのです。
だいすきな
すみれちゃんの　上を、
くるまで　はしれる
わけが　ありません。

一まいの
大きな
しゃしんが　でてきて、
どうろ　いっぱいに
ひろがりました。
「なにが　ひみつへいきだ。
こんなの　へっちゃら……。
あっ、たいへんだっ。」

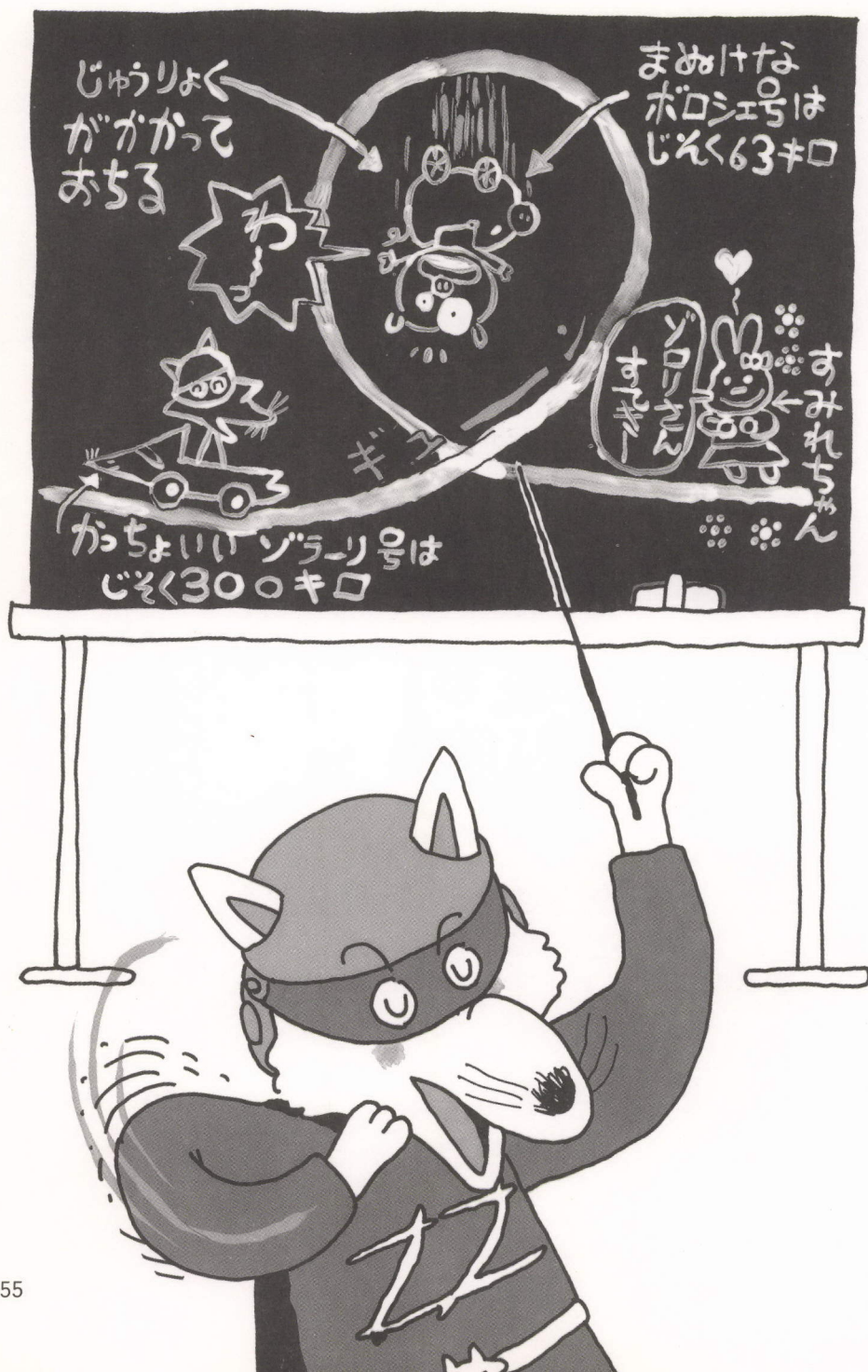
「なんて　ひきょうなやつ。」
「ひきょうは、どっちだ。」
「よーし、こうなったら　みてろよ。
〝ひみつメカ2〟だ!!」
ゾロリは、ひみつメカ2の
ボタンを　おしました。
すると、F1
ゾラーリ号の
うしろから、

しっぽの
なげなわが
やくに たった。
さあ
いくぞ。
ニヒ
ニヒ
ピルルルルルル
グル
グル
1
2
3
4

そうです。
もしかしての
ほうれんそうマンです。

ゾロリは、ビュンビュン つっぱしったので、
じまんの ひげが、 みだれてしまいました。

ゾロリは、
じそく　三びゃくキロ　だせる
ターボエンジンで、いっきに
つっぱしりました。
「いやあ、ほうれんそうマンの
くやしそうな　かおったら、
ゆかい　ゆかい。イッヒッヒ。」

ゾロリの　いうとおり、ついらく
してしまう。」
ほうれんそうマンは、くるりと
ボロシエ号の　むきを　かえて、
ゾロリに　しっぽを　みせました。
「バイバイ　グッバイ、さようならー。
元気で　くらせよー。ほうれんそうマン。」
ゾロリは　ハンカチを
ふって、みおくりました。

「うむー。それを　せつめいする
ために、ゾロリ、おまえは　わざわざ
こくばんを　つんできたのか。」
「そうだ！　これが　おれさまの
やさしさよ。フッフッフ、
いのちが　おしかったら、
さっさと　かえるんだな。」
「うむむ……。ボロシェは、じそく
六十三キロしか　でないんだ。

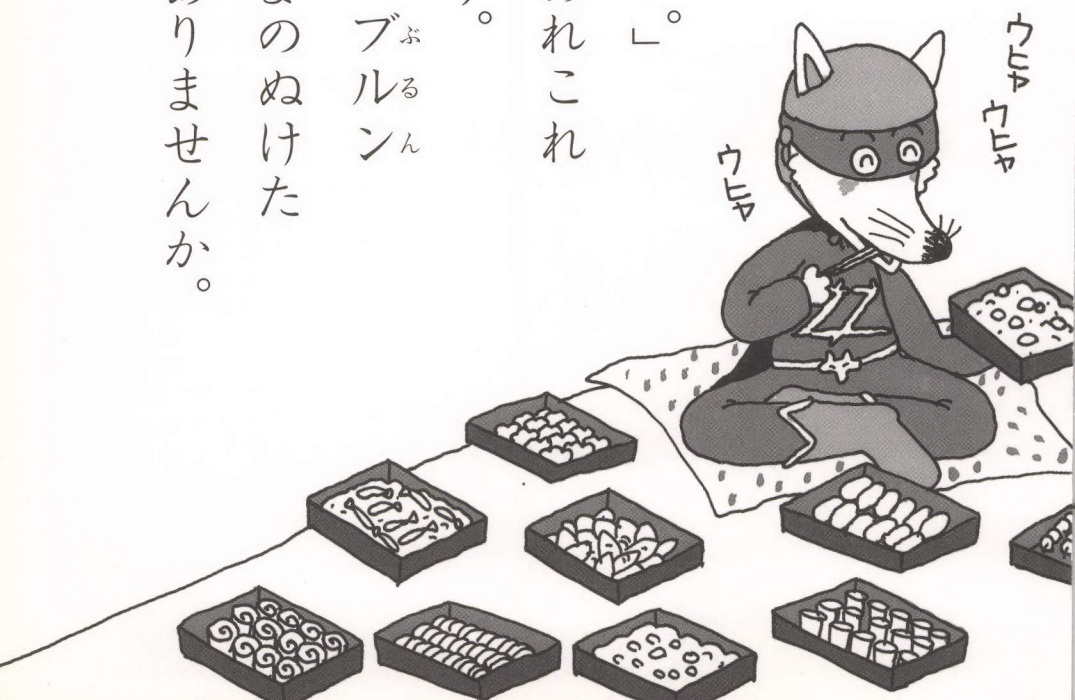
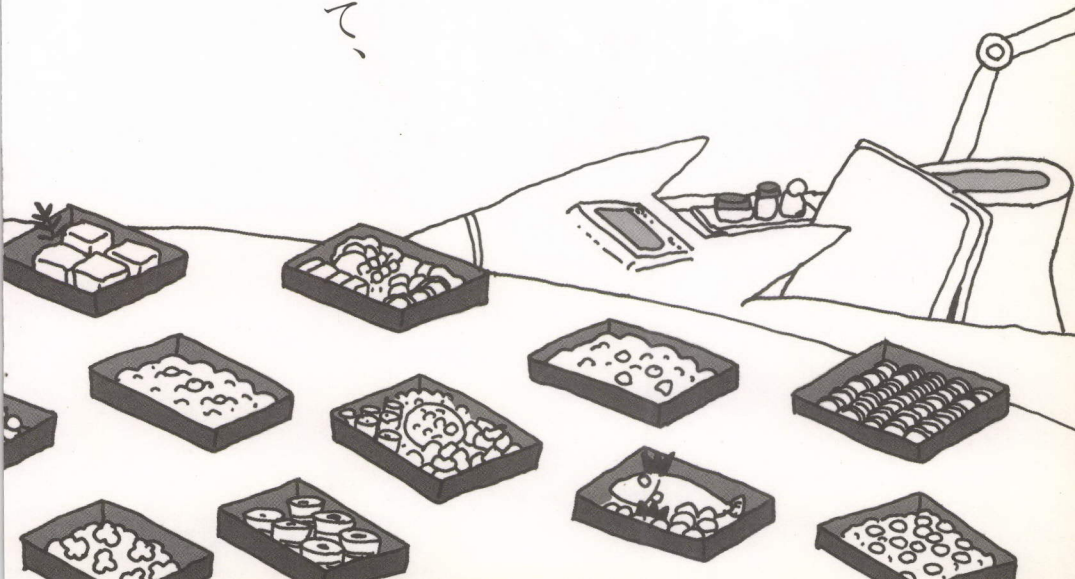
じゅうりょく
がかかって
おちる
まぬけな
ボロシェ号は
じそく63キロ
わ〜っ
ゾロリさん
すてき〜
すみれちゃん
ギュ
かっちょいい ゾラーリ号は
じそく300キロ

「のろのろ　のろまな
ボロシエでは、ぜったいに
ジエットコースターどうろは
わたれないのだ。」
ゾロリは　こくばんを
だしてきて、せつめい
しはじめました。
「ジエットコースターの　ように、じそく　三びゃくキロで
つっぱしらないと、まっさかさまに　ついらくだっ。」

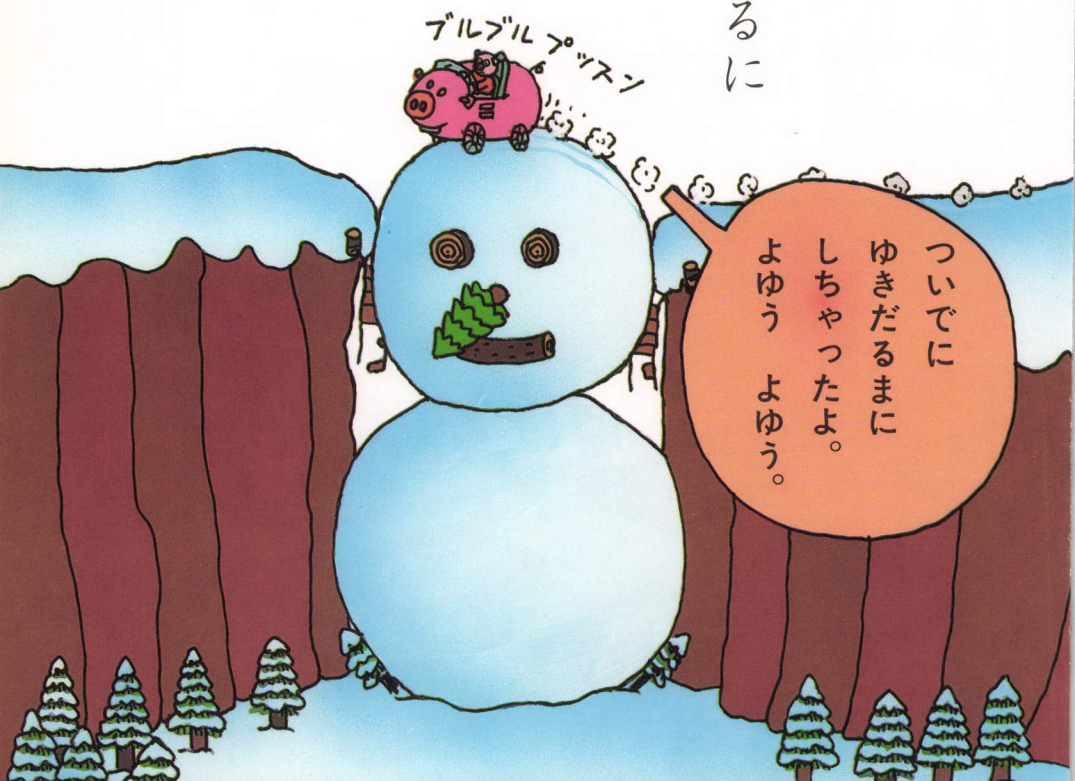
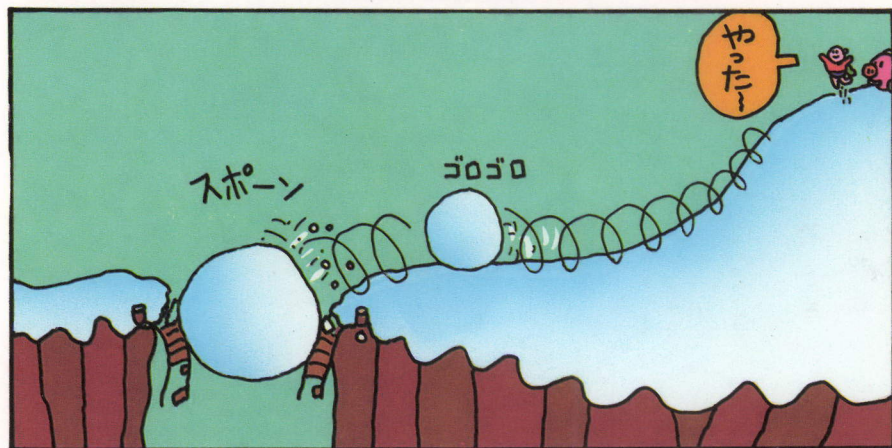
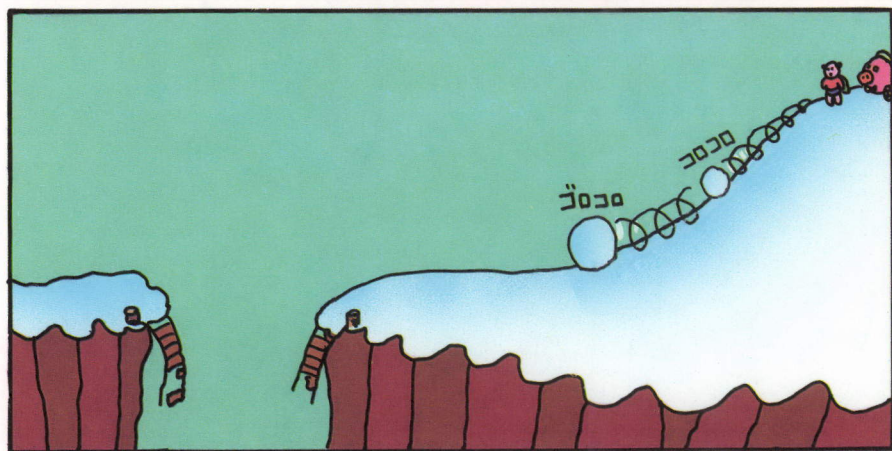
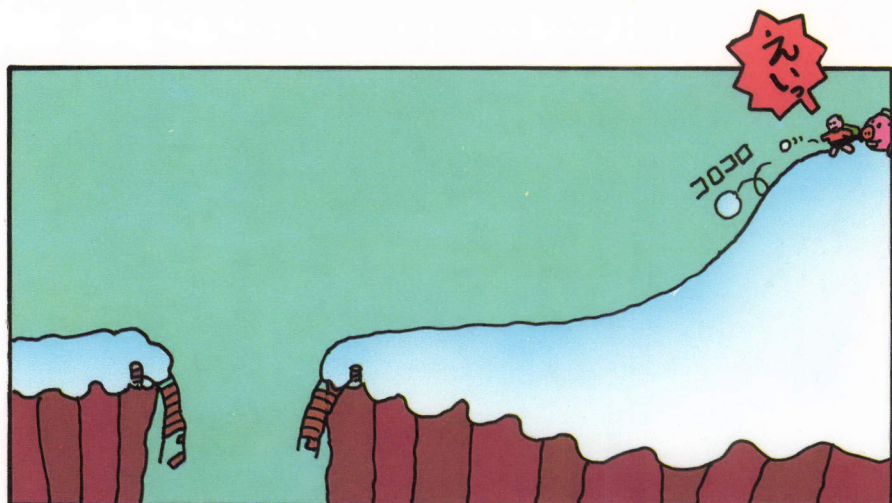
「なぜだっ?」
きょうふの
ジェット コースター
どうろ

やっとのことで、　おせちりょうりを
かたづけると、
ブォロロオォ――ン
F1　ゾラーリ号は、　どうにか
ジェットコースターどうろの　ところで、
ボロシェ号に　おいつきました。
「やれやれ、　やっと　まにあった。
ほうれんそうマン、　おまえとも　ここで
えいえんの　おわかれだな。」

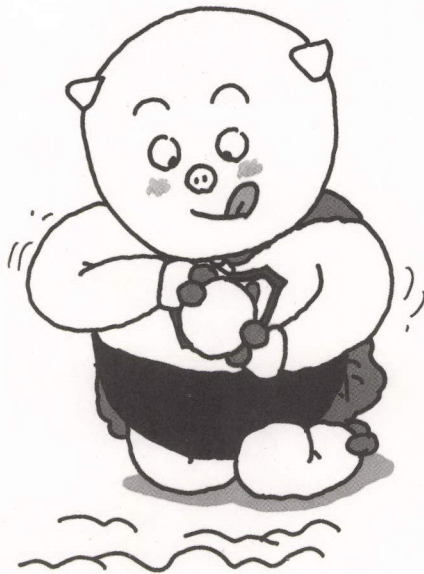
おれさまの　くるまは、じそく　三びゃくキロ。
ボロシエ号は、六十三キロ。ぜったい　おれさまが
かつもんね。」
ところが、
二十だんの
おせち
りょうりを
かたづけるのに、すっかり　時間が　かかって
しまって、ゾロリの　あせること　あせること。

「あの、まぬけな　おとは、ややっ、ポイポイ
ボロシエ号だっ。」
のろのろ　はしって　いく　ボロシエ号を　みた
とたん、ゾロリは、いやな　きぶんに　なりました。
『うさぎと　かめ』の　おはなしを、おもいだした
のです。
うさぎが　のろまな　かめに　まけると　いう、
まったく　うそみたいな　おはなしです。
「そんなこと、あるはず　ないもんね。

「おしょうがつは、
なんといっても　えびに
かまぼこ、くりきんとんだ
もんね。めでたい　めでたい。」
パクパク　ムシャムシャ、あれこれ
あれこれ、たべているときです。
ブルブル　プッスン　プス　ブルン
どこかで　きいたような、まのぬけた
おとが　きこえてくるでは　ありませんか。

いっぽう、こちらは　ゾロリ。
「ポイポイのやつ、こちらがわには
これないだろう。
どれ、おせちりょうりでも
たべるとするか。
ウヒウヒ、たのしみ　たのしみ。」
ゾロリは　すっかり　あんしんして、
二十だんの　おせちりょうりを
ひろげ、たべはじめました。

ゆき山の　てっぺんから
ころがした、二つの
ゆきだまは、ころがりおちるに
つれて、どんどん
大きく　なり、たにを
すっぽり　ふさいで
くれました。
「これで、らくらく
わたれるさ。」

えいっ
コロコロ
コロコロ
ゴロコロ
やった～
ゴロゴロ
スポーン

ゆうきと　ちえが　こんこんと、いずみのように
あふれてきます。

そうだ!!
こうすれば　いいんだ

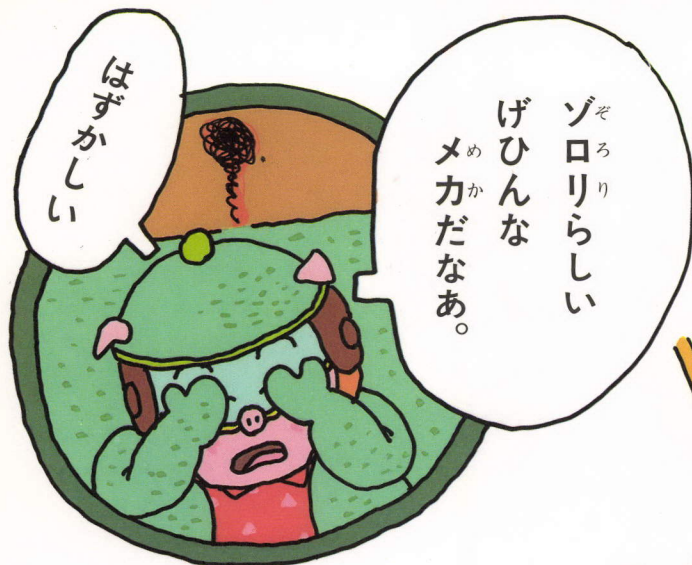
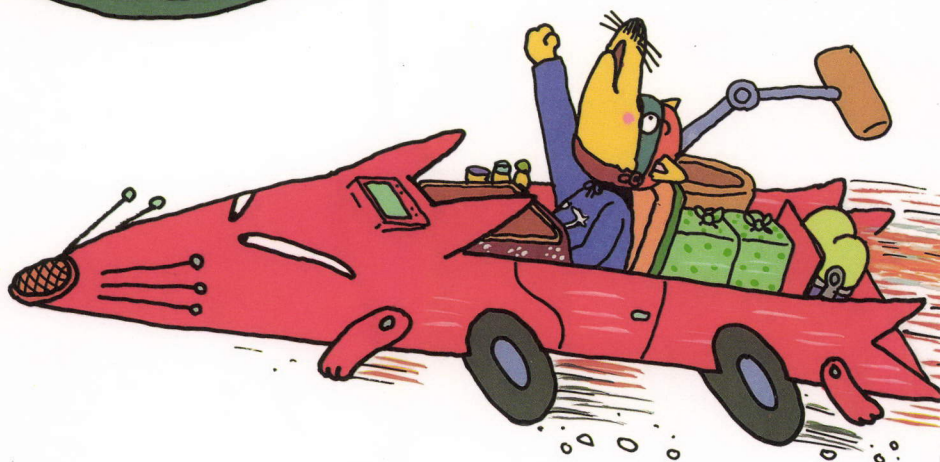
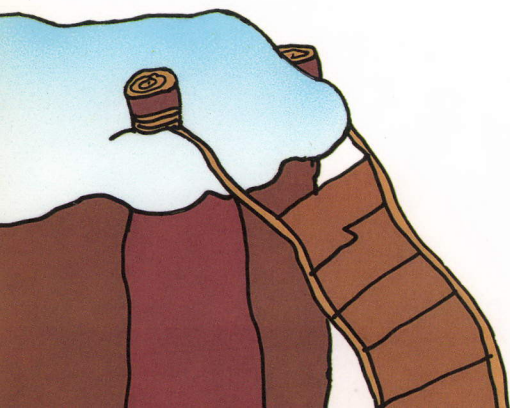
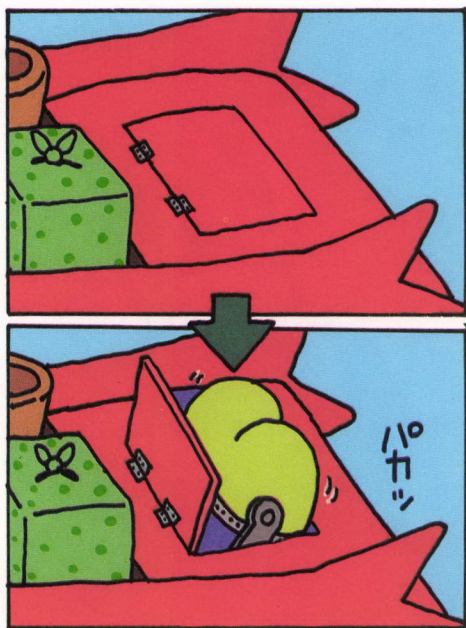
ほうれんそうマン(まん)は
ゆき山(やま)の　てっぺんで、
ゆきだまを　二(ふた)つ、つくりはじめました。
もう　かてないと　おもって、あそんでるのかって？
いえいえ、ちがいます……。

ポイポイは 山の 上で、すっかり こまって
しまいました。
「こういう ときには、ほうれんそうだ。」

さむくて ほうれんそうは
こおって いたので
おせんべいのように
なって いたのです。

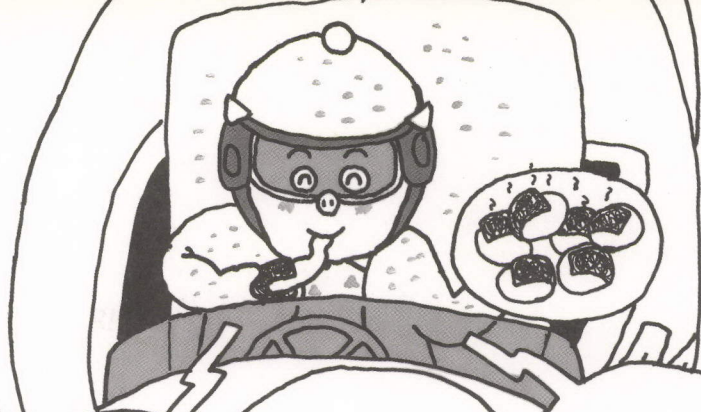
パリパリパリパリ

ジャジャジャジャーン!!
ピンクの おかお、みどりの
マントの ほうれんそうマンに
へんしんです。

ジャーン

ヤホホ〜イ
ゾロリらしい げひんな メカだなぁ。
はずかしい
ビューーーイーー

〝ひみつメカ1〟の　ボタンを　ゾロリが
おすと、くるまの　うしろから、
あらまあ　はずかしい、
おしりが　でてきましたよ。

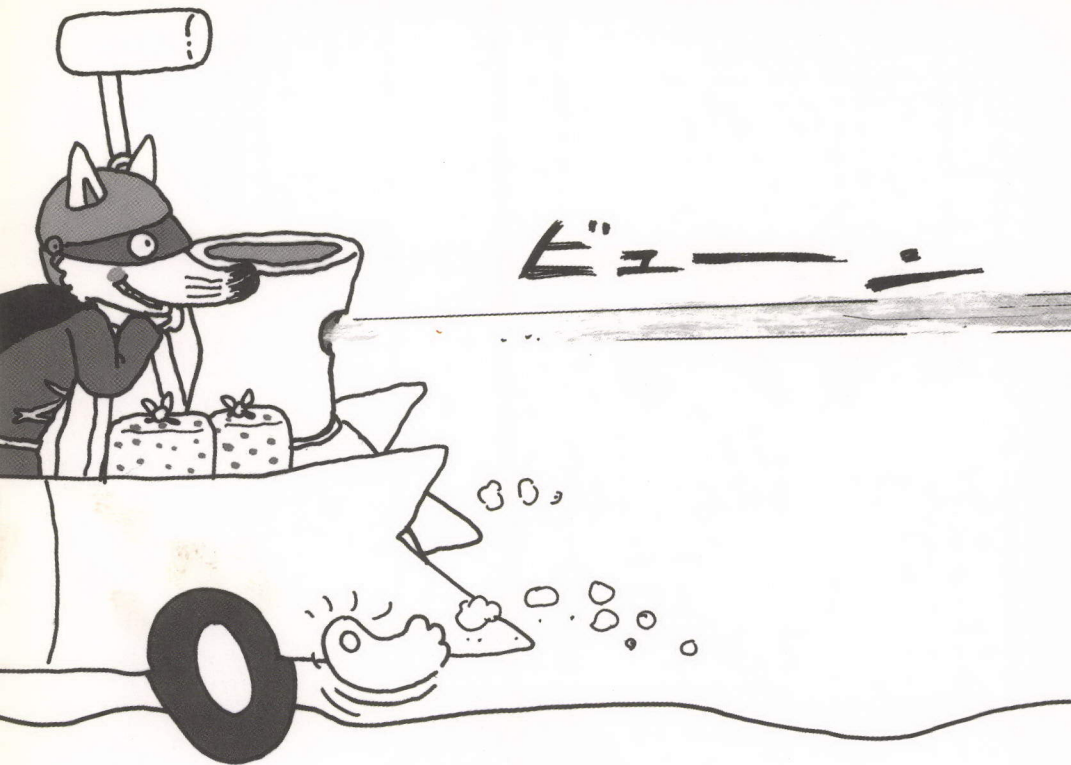
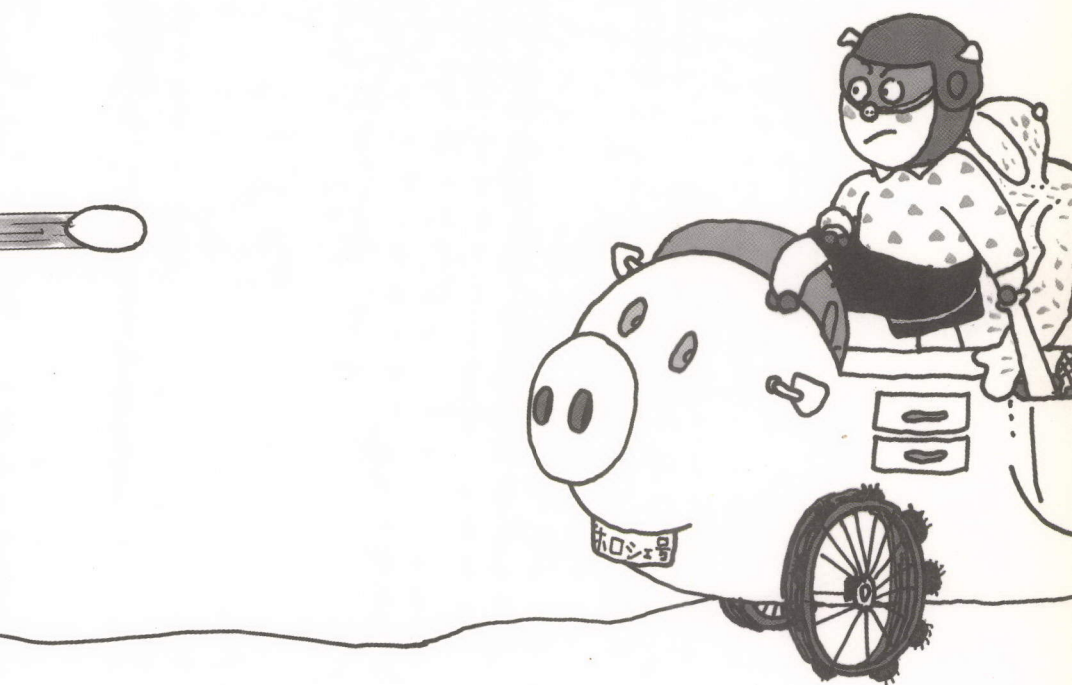
なのに　ゾロリったら、
大よろこび。山の
てっぺんに　いる、
ポイポイに　どなりました。

ゆき山の　のぼりみちに　はいりました。
FI　ゾラーリ号は、ゆきを　けたてて
もうれつな　いきおいで　すすみます。
ポイポイが　山の　てっぺんまで　たどりついた
ときには、ゾロリは　もう　山を　くだって、
はしの　ところまで　きていました。
「ゾロリのやつ、はやいなあ。ギョッ！
はしが　これてるぞ。」
これでは、くるまは　わたれません。

どうだ　ゾロリ。
ひっさつ　もちはさみだっ。
いそべもちの　できあがり。
ウヌヌヌヌ……くやしい。
ありゃ、もちが　なくなっちゃった。
ポイポイ、いそべもちを
一こ　おくれよ。
いやだよ――。
ああ、つきたての　おもちは
おいしいなあ――。
クーッ　おぼえていろよ。
たべものの　うらみは　こわいからな。

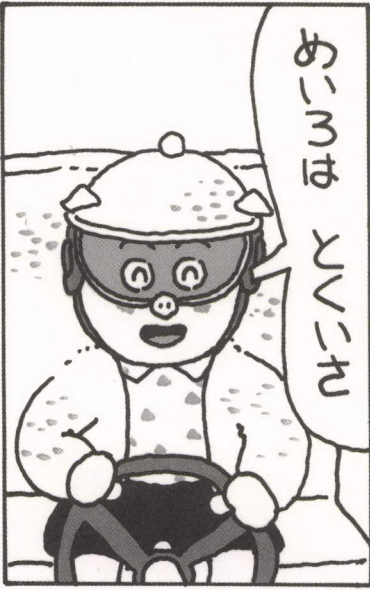
パシッ！

とんでくる　おもちを、　のりで　うけとめたのです。

ゆきだまでは　なく、つきたて　ほやほやの
おもちなのだから、たまりません。
ベッチョリ、ねとねと、
バットに　くっついてしまいました。
「これは、おもちだな。たべものを
そまつに　するな、ゾロリっ。」
ポイポイは、すみれちゃんの
つくってくれた　おべんとうばこから、
あじつけのりを　とりだしました。

「ウワッハッハ、ポイポイ　この　しょうぶ、
おれさまの　かちだな。」
ゾロリが　わらいました。

「ややっ、ゆきだまか。
ひきょうな　やつだなあ。
でも　だいじょうぶ。
こんなことも　あろうと、
バットを　つんで
きたのさ。ホームランを
かっとばしてやる。」
　ポイポイは、バットを
かまえました。

おもちが　つきあがると、
ゾロリは　ポイポイを
おいこして……。
「これを　うけてみろっ。」
うしろに　いる
ポイポイに、
ゆきだまのように
まるめた　おもちを、
なげつけました。

ポイポイめ、
なまいきだぞ。
でも このもちつきメカ
さくせんには、
まいるだろう。
ヒッヒッヒッヒ!!
ペッタンペッタン
ペッタンペッタン

おやおや　ゾロリったら、じぶんで　つくった
めいろの　くせして、まよっていますよ。
ポイポイは、すいすい　とおりぬけます。
おかげで、めいろの森を　ぬけたときは、
ゾロリより　さきに　すすむことが　できました。

出口(でぐち)

↑この　ゾロリマークの　ある
みちを、とおらなければ　だめだよ。
よーく、この　マークを　みて、しゅっぱつ
してね。ちょっとでも　この　マークと
ちがう　みちを　とおると、また
入り口から　やりなおしだよ。
このみちで
よさそう
だぞ
入り口
ありゃ
はじめから
まちがえた
かな

うまってしまったのです。

たいへんだ〜
ポイポイがうまっちゃった

わっせわっせ
はやくはやく

がんばれ〜
がんばるぞ〜〜
ブルブル プッスン
ハァハァ

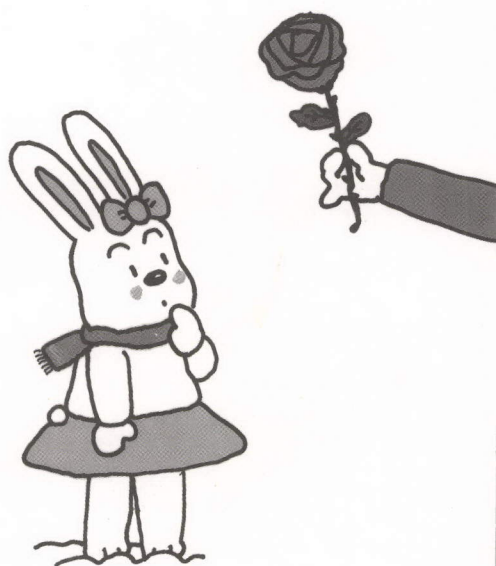
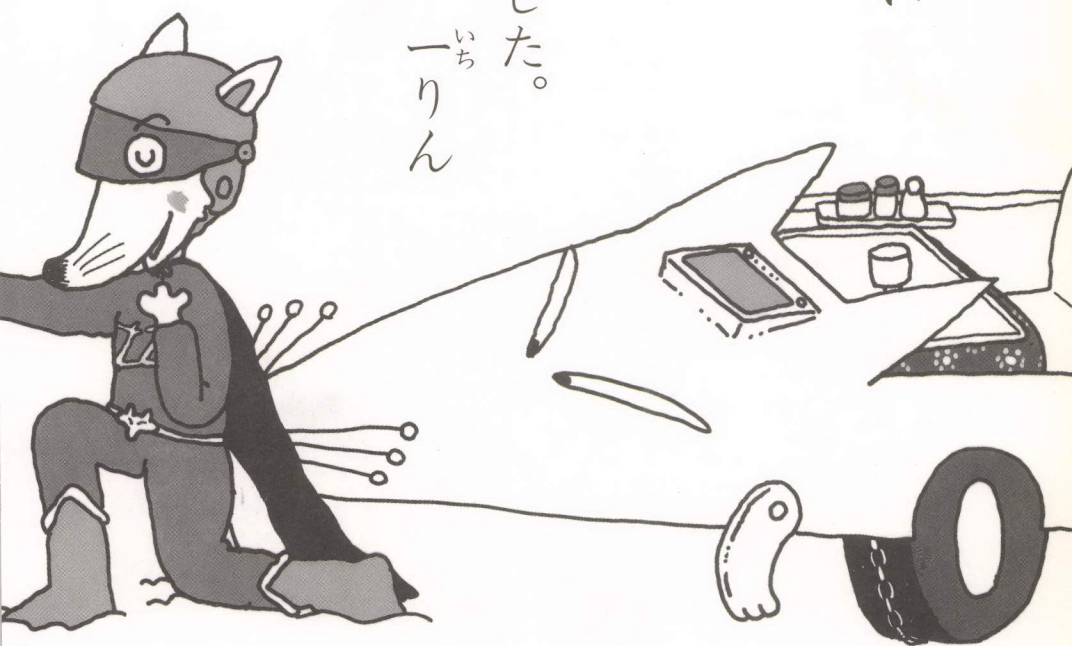
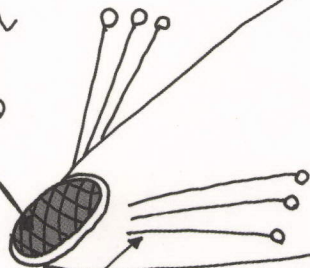
いよいよ　スタートです。
チェッカーが　ふられました。
ブオロロォオーオ――ン
ゾロリの　スーパーカー、
〝F1ゾラーリ号〟は、ゆきを
けとばしながら、あっというまに
みえなくなって　しまいました。
あれ、〝ポイポイ　ボロシェ号〟は？
ゾラーリ号の　けたてた　ゆきに、

わたしました。

「おじょうさん、ゆうしょうしたほうのむねに、このバラをさしてはくれませんか。フッフッフ……。それが男のロマンだぜ。」

おじょうさんがたは、もうワーワーキャーキャー。

「なんてろまんちっくなことばなのかしら。」

「あたし、ゾロリさんのファンになりそう。」

「まあ、なんて かっこいい
スーパーカーでしょう。」
「うっとり しちゃうわ。」
おじょうさんたちが、
あこがれるように いいました。
ゾロリは、赤い バラを 一りん
もって おりてくると、
すみれちゃんに
ひざまずいて、

Ⓐ
ぬくぬく
おちゃも おける
☆こたつに はいったまま
うんてん できる
ゆめの せっけい
ハンドルも こたつのなか
だから. 手も あったかいよ
Ⓑ
☆300キロで はしると
ひげが みだれたり
はだが あれたりする
そんなとき……
ビーン
ボタン1つで
かがみがでてきて
みだしなみを
ととのえる
Ⓒ
☆もちを つき
まるめて
あいてに
なげつける
ゴチン
めが さめた
☆いねむりうんてん
ぼうしメカ
にもなるよ
つきたての
ベトベトもちが
あたると たいへんだぞ〜〜
☆ひみつメカ1
ここから なにが とびだすか
きみは この本を
よまないと わからないぞ
☆ライト
200メートル
さきまで
てらせる
☆テレビやラジオの
アンテナに
なっている
☆ひみつ メカ2
さあ くちから なにが
でてくるか それも ひみつだ!!

# ついに ベールを ぬいだ ゾロリの スーパーカー F1 ゾラーリ号

Ⓑみだしなみよう カガミ

ⒶⒷⒸは左ページの くわしい せつめいを よもう

☆おせちりょうり 20だん おひるに たべるんだ

こくばん

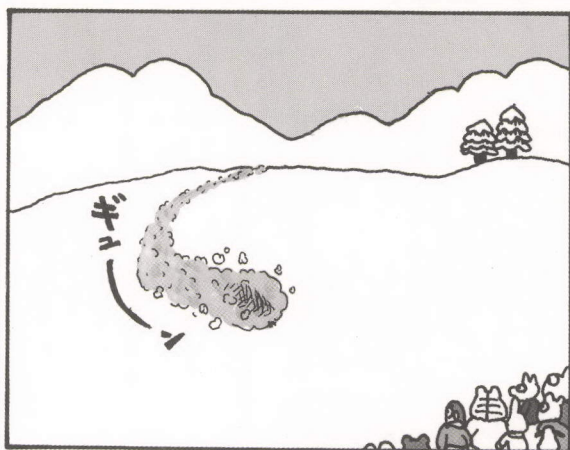
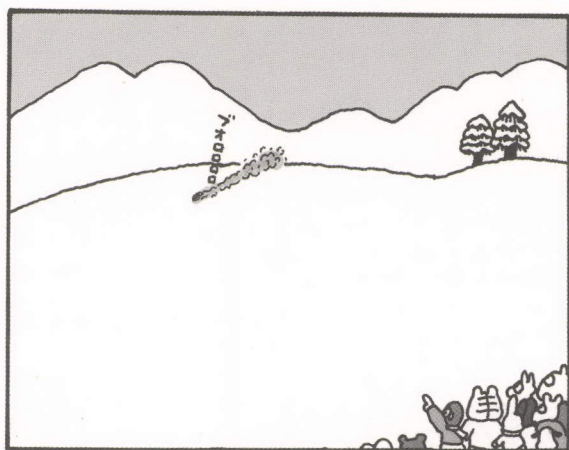
☆ゆきかきよう うしろあし

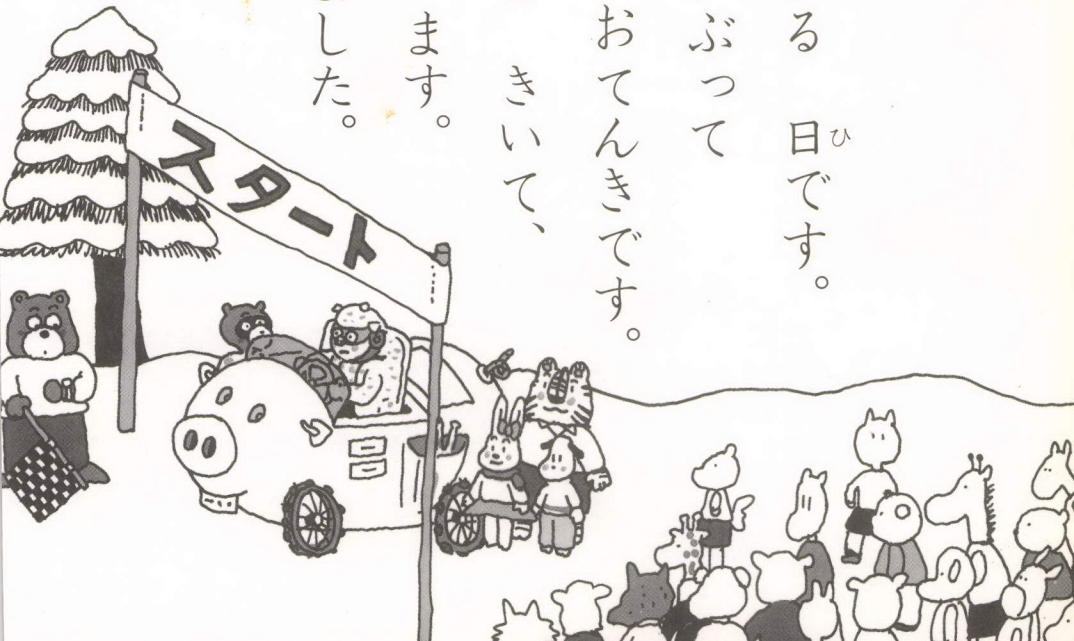
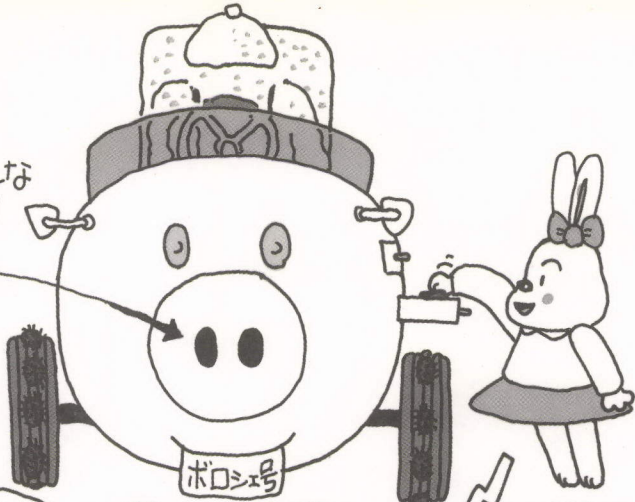
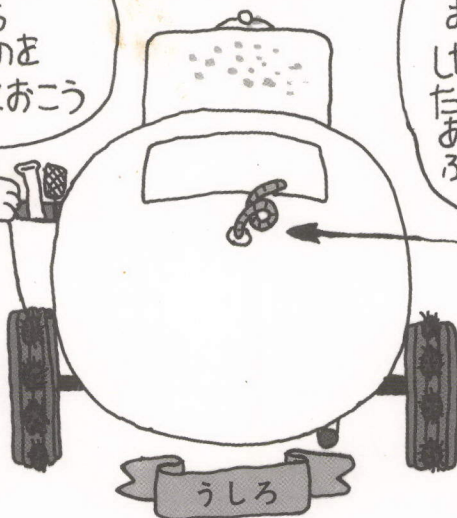
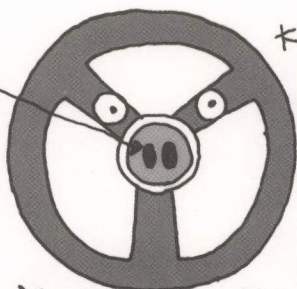
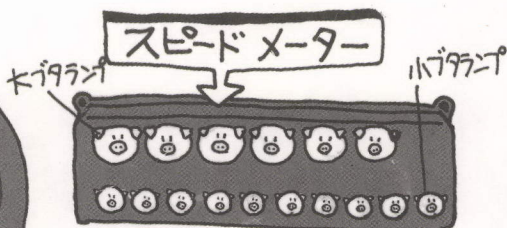
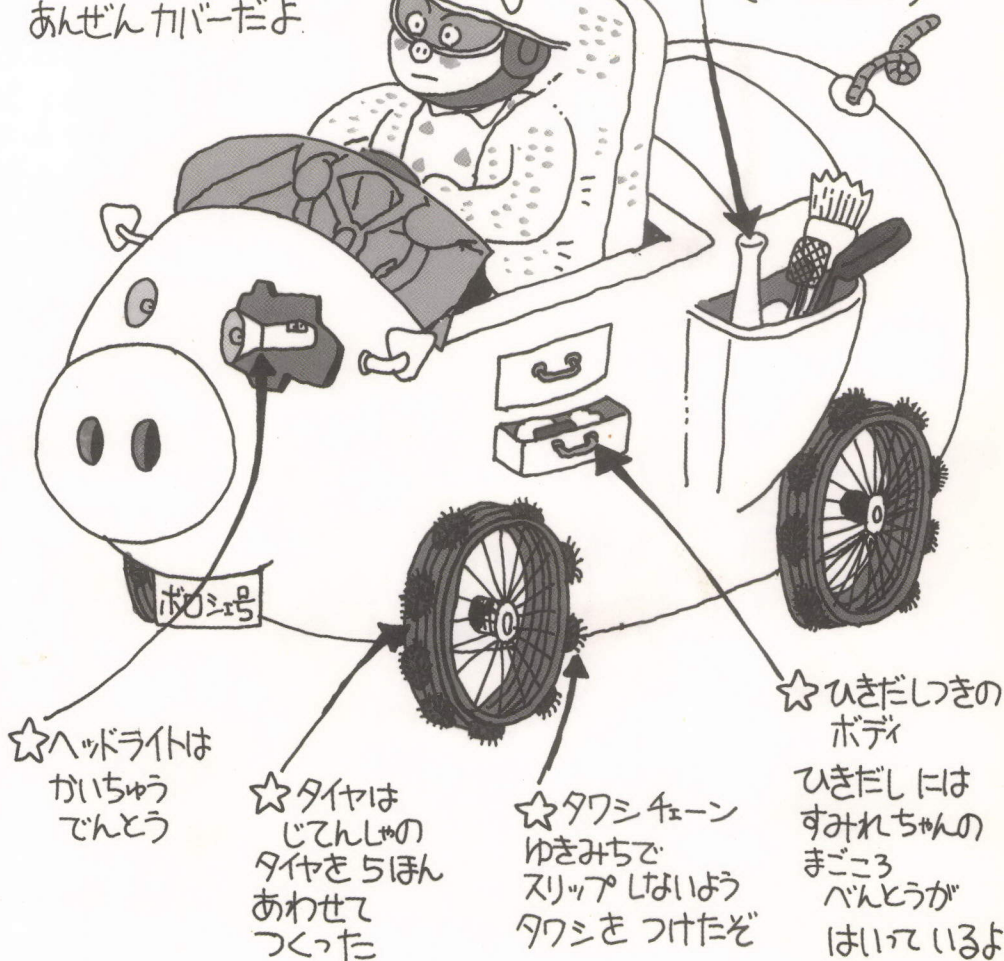
☆ゆきかきよう まえあし (ぐるぐる まわって ゆきを うしろに けとばす)

☆チェーン

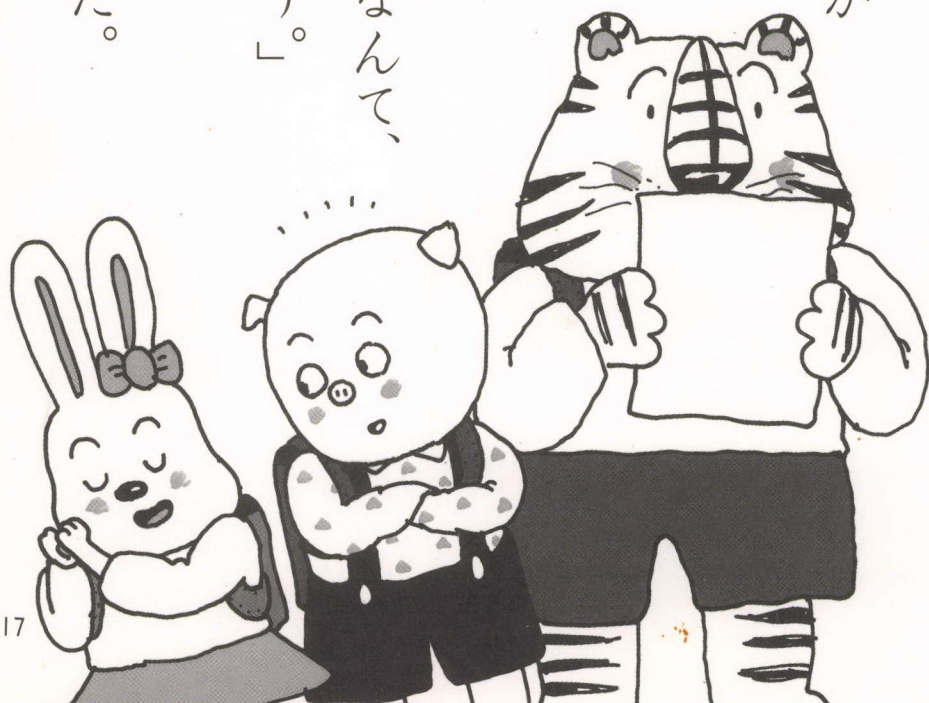
☆テレビ もちろん テレビゲームも できるぜ よゆうだね

さいこうじそく 300キロだ まいったか。

ポンチと、イヌジが　いったときです。

ゆきけむりが　おさまると……

一月一日に　なりました。
じどうしゃレースが　ひらかれる　日です。
森も林も　ゆきの　ぼうしを　かぶって
いますが、空は　はれて　いい　おてんきです。
スタートちてんには　うわさを　きいて、
おおぜいの　ひとたちが　きています。
しゅっぱつの　時間に　なりました。
「おそいなあ、ゾロリのやつ。」
「にげだしたんじゃ　ないの。」

ポイポイの
ひみつへいき
☆このはなが どんな
はたらきをするかは
この本を ゾロリ
が よんでいると
こまるから
きみにも
おしえられないよ
ボロシェ号
まえ
ゾロリが どんな
てを つかって くるか
わからないから
いろいろ なものを
いれておこう
うえの ひきだしには
おべんとう
したには、おかずが
たりないときのために
あじつけのりと
ふりかけ
いれとくわ
☆この しっぽは
かざりではない
スルスルのびて
なげなわに
なるんだぞ
うしろ
スピード メーター
大ブタランプ
小ブタランプ
☆クラクション
もちろん
おとは
ブーブー
とくせい ハンドル
ボロシェ号の さいこうじそく 63キロ
大ブタランプ 1こつくと 10キロ
小ブタランプ 1こつくと 1キロ

# ポイポイ（ぽいぽい） ボロシェ号（ぼろしぇごう）の ひみつは これだ!!

ぼくらは　なかよし　五にんぐみ
ちえを　しぼって　つくろうよ
ひみつへいきを　かんがえよう
どんな　レースに　なるのだろ
ちょっぴり　こわい　きも　するが
まかせておいて　ぜったい　かつさ
ぼくらの　マシーンの
ゆうしょうだ!!

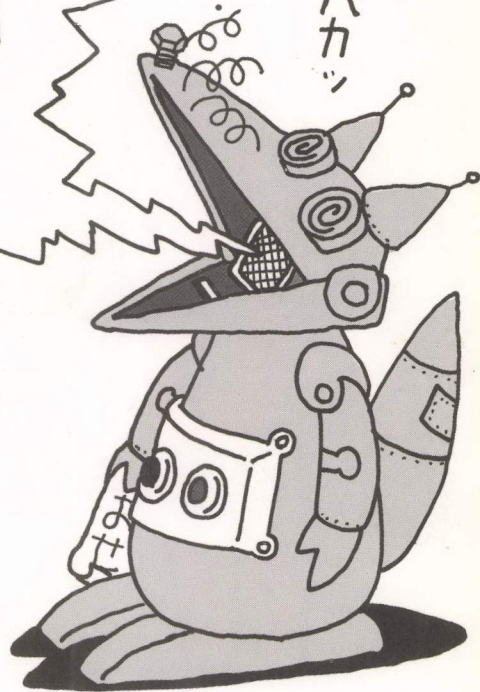
「ぼく、しゅつじょう　してみようかなあ。」
ポイポイが　いうと、イヌジと　ポンチは、
「だったら　ポイポイ、こっちも　ゾロリに
まけない、すごーい　マシーンを　つくらなくっちゃ。」
と、大はりきり。
「五にんで　ちからを　あわせれば……。」
「すごーい　マシーンが　つくれるさ。」
「さっそく　はじめましょ。」
「ゾロリなんかに　まけるもんか。」

「すごく　こわーい　しかけが
あるんじゃ　ないかなあ。」
からだは　大きいけれど、
きの　よわいところの　ある
シマオが　いいました。
「でも、じどうしゃレースだなんて、
むねが　どきどき　しちゃう。」
すみれちゃんは、
あこがれるように　いいました。

ポイポイは、あおの ボタンを おしました。

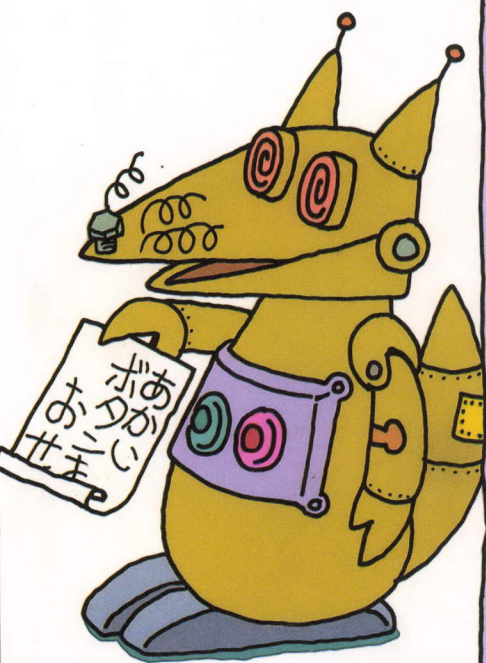
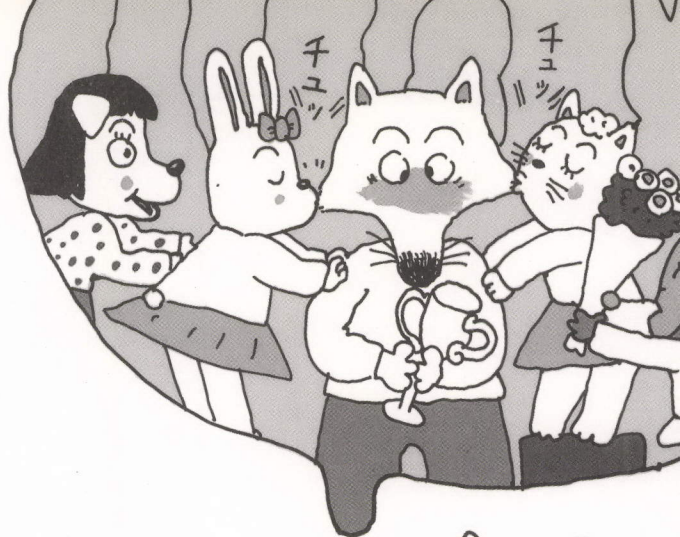
レースを ひらくことに きめたぞ
いのちを かけた、レースに、 ピーガーガ
しゅつじょうする、ゆうきは あるだろうね
すご〜い じどうしゃと、たのし〜い コースを
つくって おれは まってるぜ ポイポイくん。
あおいボタンを おせば、コースのちずが
でてくるよ〜〜ん ピーピー

ポイポイが、あかい
ボタンを　おしますと……

パカッ

ピ～ピ～ガ～ガー
ほんじつは、せいてんなり
こちら　ゾロリ　こちら　ゾロリ
えー　さむい目が　つづくが　げんきか？
おれさまは　おげんきよ。　ピーピーガーガー
ところで、　おしょうがつに、じどうしゃ

〝あかい　ボタンを
おせ〞って、
かいてあるよ。

さて、冬やすみに　はいる　まえの日。
ポイポイが、みんなと　なかよく　学校から
かえってくると、いえのまえに　おかしな
ロボットが、ちょこんと　たっていました。

ロボットは、右手に
てがみを　もっています。

「こんどこそ、すみれちゃんにも
おれさまのほうが、ポイポイより　ずーっと
かっこいいってことが、わかるだろう。」

「ククーッ　かっこいーい！　きめた　きめた。
じどうしゃレースを　ひらこうっと。
うんと　すてきな　マシーンを　つくって、
ポイポイなんか、あっというまに　おいぬいて、
パンパカパーン！　ゆうしょうするんだっ。」
ゾロリの　こころは、ストーブに　火を　つけた
ように、カッカと、もえてきました。

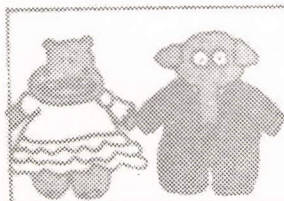
ノーノー　ベイビー
かわいこちゃんは
いっぱい　いるけど
おれさまに　ほれちゃ
いけない
ノーノー　ベイビー
おれさまを
おいかけないでくれ

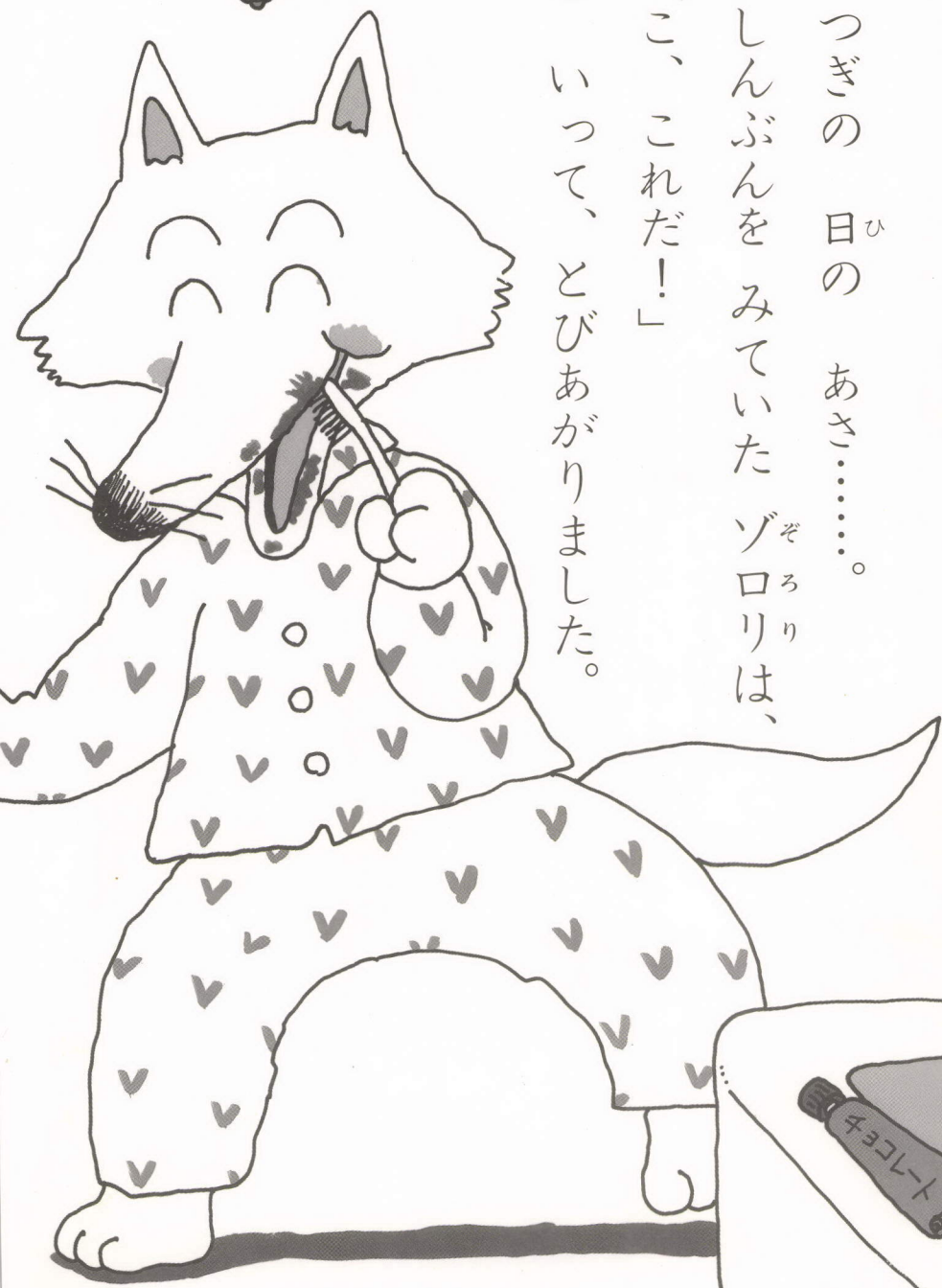
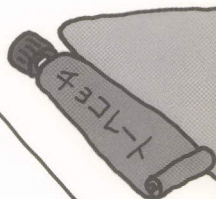
「ウヒャヒャ、エヘヘ、じどうしゃレースに
ゆうしょうして、ポイポイに　かてば　いいのだ。
そうすれば　すみれちゃんだって、
『まあ　ゾロリさん、すてき！』なんてね。」
おやまあ、きのうの　よるは、「すみれちゃんなんて
だいきらいだもんね」と　いったくせに、
ほんとうは　すみれちゃんのこと、すきなのね。
ゾロリは　もう、じぶんが　ゆうしょうして、
にんきものに　なったような　きまで　してきました。

よんでね しんぶん

# よんでね しんぶん

## モウ・スピードくん ゆうしょうして おんなのこに かこまれる

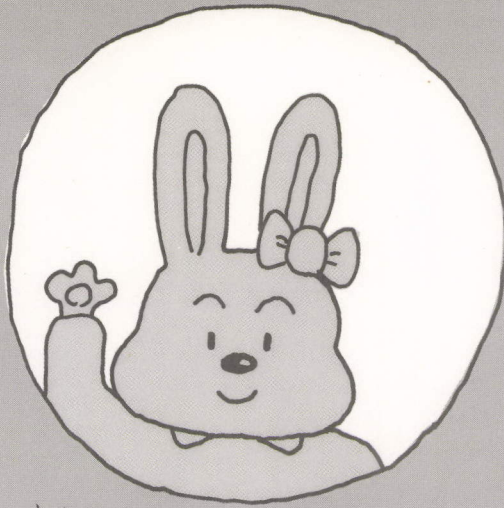
じどうしゃレースで みごと
ゆうしょうした モウ・スピード
くん(21さい)は、レースの あと
ファンの おんなのこに
かこまれ おいわいの キッス
ぜめに あい うれしい
ひめいを あげました。
モウ・スピードくんは いち
やく にんきものです。

カバさん ゾウさん よう
LLサイズ せんもんてん

でっかい屋(や)

つぎの　日の　あさ……。
しんぶんを　みていた　ゾロリは、
「こ、これだ！」
と　いって、とびあがりました。

あかんべーを　しました。
「ママー、すみれちゃんなんて
だいきらいだもんね。
おともだちになんか、
なって　ほしくないもんね。
ハッ、ハックション！」
ほんとかしら。
なんだか、その　はんたいって
きも　するけどね。

月の　かげが、うさぎの　すみれちゃんの
かおに、みえたのです。

すみれちゃんは　きの　つよい
ところも　あるけど、とても
かわいい　女の子なのです。

「ふん、すみれちゃんなんて、
いつも、ポイポイの　みかた
なんだもの。あっかんべーだ。」

ゾロリは、お月さまに　むかって、おもいきり

「クシュン、お月さまには　うさぎが
すんでいるって　いうけど、
どんな　うさぎかなあ。」
だれも　こたえてくれません。
北かぜが　ヒュルルと、
とおりすぎていくだけ。
「あれ……、なんだあ。」
ゾロリは、目を
こすりました。

こんやは　まん月。
月の　ひかりを　あびて、　のはらが
ぎんいろの　海に
なったようです。
ゾロリは　のはらの
まんなかで、　ぼんやり
月を　ながめています。
なぜだか、　とっても
さみしそう。

# ほうれんそうマンの じどうしゃレース

みづしま志穂 さく ★ 原 ゆたか え

# ほうれんそうマンの じどうしゃレース

みづしま志穂 さく　　原 ゆたか え